

第九十回 帝國議會 貴族院 食糧緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會會議事速記録第四號

付託議案
○食糧緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)

昭和二十一年九月十一日(水曜日)午前十時十四分開會

○委員長(伯耆黒田清君) ソレデハ是カラ昨日引續キマシテ、會議ヲ開キマス

○子爵(今城定政君) 我々日本人ト同ジヤウナ主要食糧ヲ取ツテ居リマス朝鮮人、臺灣人等ハマダ大分殘留シテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、其ノ數ハドノ位デゴザイマセウカ、又彼等ニ對スル配給ノ方法ハドウナツテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、尙近頃朝鮮人ノ、密入國ト云フコトガ大分アルヤウデゴザイマスガ、其ノ狀況ハドウデゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(梶見義男君) 御答申上デマス、第一ニ一番多イノハ朝鮮人デアリマスガ、是ハ御承知ノヤウニ終戰前迄ハ約二百萬居リマシタ、其ノ後遂次歸國ヲ致シテ居リマシタ、又先般モ日ヲ限リマシテ歸國希望者ニ付テ計畫輸送等モ致シテ居リマシタ、併シ其ノ當時歸國ノ申出ヲ致シマシタ者モ、其ノ後朝鮮ニ於ケル經濟狀況、社會狀況ガ必ズシモ良好デナク、特ニ本年ハ南鮮ニ二十年來ノ大水害ガ起リマシテ、勿論交通モ十分回復シテ居リマセヌノミナラズ、食糧事情モ決シテ好グナイ、ソレニ今申上ゲマスヤウナ風ニ社會事情、經濟事情モ必ズシモ良好デナイ爲ニ尙コナラニ殘ツテ居ル者ガ相當多イヤウデアリマス、正確ナ數字

ヲ私只今手許ニ承知致シテ居リマセヌガ、五十萬以上ノ者ハ居ルノデハナイカ、思ハレマス、一方臺灣人デアリマスルガ、現在中華民國臺灣省民ト稱シテ居リマス、此ノ方ハ矢張り終戰前ニハ十萬程度居リマシタガ、歸國ノ希望者モ相當多ク、又其ノ方ノ輸送モ順調ニ行ツタヤウデアリマシタ、現在精々二三萬ヲ超エナイ數字ノヤウニ承知シテ居リマス、ソレカラ是等ノ人々ニ對シマスル食糧ノ問題デアリマスガ、朝鮮人ハ全ク日本人ト同等ノ取扱ヲ致シテ居リマス、臺灣省民ニ付キマシテモ、從前ハ日本人ト同等ノ、全ク同様ノ取扱ヲ致シテ居リマシタガ、先般司令部ノ方カラ指令ガ參リマシタ、聯合國人ニ對シマスル食糧ニ付テ加配ヲスルヤウニト云フ指令ガ參リマシタ、其ノ指令ニ基キマシテ、聯合國人ニ對シマシテハ或程度増配ヲ致シテ居リマス、尤モ此ノ増配ノ種類ハ、米食人種ト申シマスカ、ソレト米ヲ常食ニシナイ國人トノ區別ヲ設ケマシテ、増加配給致シマスル種類ハ區分ヲ致シテ居リマスルケレドモ、併シナガラ何レニ致シマシテモ、聯合國人ニ對シテハ司令部ノ指令ニ基キマシテ増配ヲ致シテ居リマス、ソレカラ密入國、主トシテハ朝鮮人ノ密入國デアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウナ朝鮮内部ノ實情カラ致シマシテ、向フハ歸リマシテモ住ミニクイト云フコトカラ、日本ニ密入國スル者ガ相當ゴザイマス、是ハ見付ケ次第、本國ニ送還ヲ致シテ居リマスカ、併シ朝鮮内部ノ交通事情、今申シ

マシタヤウナ水害ニ基ク交通ガ復舊セヌト云フヤウナ色々事情カラ致シマシテ、現在約八千名、其ノ後數字ハ多少變更ガアルカトモ思ヒマスガ、約八千名ノ者ヲ長崎ノ一區盤ニ抑留ト申シマスカ、其處ニ留メ置キマシテ、交通ガ付キ次第向フハ歸スト云フコトデ、現在長崎ニ抑留ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フ現狀デアリマス

○子爵(今城定政君) 終戰當時ニハ臺灣人ニ對シテハ五合ノ配給ヲシテ居ツタト云フコトヲチヨット耳ニ致シマシタガ、ソレハ其ノ通りデゴザイマスカドウデスカ

○政府委員(梶見義男君) 只今申上ゲマシタヤウニ臺灣人ニ對シマシテハ、全ク日本人ト同様デゴザイマシテハ、唯日本ノ方デアリマス、田舎ニ親戚ガアルトカ、或ハ其ノ他ノ事情デ相當闊賈モ出來タノデアリマスガ、臺灣人ノ中デ特ニ學生ノ方々ハ國カラノ送金モ杜絶シ、又内地ニ寄ル邊モナイト云フコトカラ、特ニ二合一勾デ、而モ學生ノ喰ヒ盛リノ連中デアリマス、從ツテサウ云フ人々ニ對シテハ、是ハ恒久的デハアリマセヌガ、其ノ時々ニ必要ナ食糧、是ハ主トシテ乾パントカサウ云ツタモノデアリマスガ、ソレカラ小麦粉、ソレカラ調味料ト云フヤウナモノヲ時々増配ヲ致シマシタケレドモ、恒久的ニハ日本人ト全ク同様ノ立場デ取扱フ、斯ウ云フ建前デ從來モ參ツタヤウナ實情デゴザイマス

○子爵(今城定政君) 宜シウゴザイマス

○子爵井上勝英君 農林大臣ガ衆議院ノ緊急措置令ノ委員會ノ御答辯ノ中デ、政府トシテ輸入食糧以外ニ五千萬石程手持ヲシテ居レバ、大體食糧操作ガウマク行ク、ソレニ付テハ米バカリデナク色々引ツクルメテト云フ御話ガアリマシタデスカレドモ、ソレニ關聯シテ、綜合供出ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ間要求シタ資料ニ依リマス、綜合供出ハ昭和二十一年産ノ馬鈴薯ニ付テダケ行ハレタノデアリマセウカ、所謂米ト雜穀ノ代替供出ハドウナツテ居ルノカ、チヨット其ノ點伺ヒタイ、ソレニ付キマシテ、本年ハ農家ノ保有基準量ノ決定ニ綜合保有ト云フコトガアリマスガ、ソレノ御説明モ伺ヒタイ、丁度次官ガ食糧管理局長官ノ時代ニ日本農業研究所ノ小原博士カラ、綜合供出ニ付テノ發表上ノ見地カラ米ノ玄米四十貫、或ハ精米三十九貫ソレカラ粗ガ五十貫ト云フモノニ對シテ、大麥五十貫、裸麥、小麥ガ四十貫、斯ウ云フモノハ大體宜イケレドモ、雜穀ノ玉蜀黍ノ五十三貫、黍ノ六十貫、稗ノ八十貫、蕎麥ノ六十七貫ハ非常ニ重イ負擔ヲ農家ニ與ヘテ居ルト云フ意見ヲ提出サレタ、ソレニ付キマシテ、大體小原博士ハ、玉蜀黍ハ十四貫、即チ一俵以上、黍モ十一貫、蕎麥モ十四貫、稗ニ至ツテハ二十貫モ過大供出ヲ強ヒラレテ居ルト云フヤウニ言ハレテ居ルノデアリマスカレドモ、雜穀類ヲ綜合供出スルト云フノハ、生産條件ガ餘リ良イ地方ニハサウナイ、或ハ又小農ノ立場ニ可ナリサウ云フ問題

ガ出テ來ルト云フコトヲ考ヘ合セマシテモ、此ノ結果ガ相當苛酷ナ割當ヲ行ツテ居ルノデハナイカト云フ風ニ思フノデスカ之ニハ何カ特別ノ政治的ノ意圖ガアルトカ色々問題ガアルノデアリマスガ、私トシテハ代替供出ヲ政府デ認メラレルト云フカラニハ、政府デモ相當責任ノアル比率ノ決定ヲ行ハレナケレバイケナイノデ、其ノ決定サレタ科學的ノ根據ト云フヤウナモノガ若シアレバ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(梶見義男君) 農林大臣ガ衆議院ノ委員會デ五千萬石ト云フコトヲ申上ゲタコトニ付テ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ消費者ニ對スル配給量ヲ一體下ノ位ニ見ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ例ヘバ現在ノ二合一勾ノ場合、二合一勾ノ場合、或ハ全然自由經濟デアリマシテ、通常言ハレタ一人一年一石ト云フヤウナ、サウ云フ風ナ色々場合ニ依ツテ違フノデアリマシテ、勿論現在ノ二合一勾ト云フ「ベール」デ參リマスサウ云フコトデハナイノデアリマスガ、通常二合一勾以上配給ヲシ、又酒モ從來ノヤウニサウ切リ詰メタモノデナクヤツテ行ケル、勞務加配モ、全然満足スル程度迄ハ行カナクテモ、ソレニ近イ程度迄勞務加配ヲ致スト云フヤウナコトヲ考ヘマス、大體純消費者ニ對スル食糧トシテハ五千萬石程度アレバ、需給操作ハ樂ニヤツテ行ケルノデヤナイカ、斯ウ云フ意味ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソコデ其ノ次ニ御尋ノ綜合供出ノ問題デアリマスガ、御話ノヤウニ、具

體的ニ綜合供出ト云フ問題ヲ探上ゲマシタノハ、本年ノ馬鈴薯、麥カテデアリマシテ、是ハ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、昨年産米ノ米ノ供出ト云フモノト混ニ合セ致シマシテ、馬鈴薯、麥ノ供出割合ヲ致シマシテデアリマスガ、其ノ意味ニ於キマシテハ、米ト馬鈴薯、麥トノ綜合供出ト云フコトモ言ヘル譯デアリマスガ、ソレハ併シ尙完全ニ綜合供出デハナイノデアリマシテ、具體的ニ完全ナル所謂綜合供出トシテ探リ上ゲラレマシタノハ、只今仰セニナリマシタヤウニ馬鈴薯ト麥デアリマシテ、麥ヲ出ス代リニ馬鈴薯ヲ出シテモ、兎ニ角量ヲ合セテ供出ト云フモノノ中デノヤリ繰リハ宜イト云フコトヲ致シタノガ初メデアリマス、尤モ從來モ、綜合供出ト云フ風ニ具體的ニハ言ツテ居リマセマカ、併シソレニ近イ供出割合ノ方法ハ執ツテ居ツタノデアリマシテ、例ヘバ戰時ノ時期ガ米ト麥トデハ違フノデアリマスガ、米ノ時ニ、其ノ當時ノ作柄其ノ他ヲ見テ勿論戰時ノスルノデアリマスガ、其ノ結果ニ基イテ、或ハ何ト云ヒマスガ、少シ甘過ぎタト云フ場合ニハ、麥テ強ク行ク、逆ニ麥テ少シ緩メテ米デヤツテ行クト云フ風ニ、供出割合ノ時期ガ違ヒマス關係上、ソレ迄ノ從來ノ割合ノ實績等ニ基イテ、サウ云フヤウナ割合ヲ致シテ居ツタノデアリマス、併シハ非常ニ抽象的ト申シマスガ不完全デアリマシテ、結局本年ノ馬鈴薯、麥ニ付テヤリマシタヤウナコトヲ今後ヤラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、米ニ付キマシテモ、同ジク米ト甘藷ノ綜合供出ト云フ問題ハ起ラウカト思ヒマス、唯此ノ綜合供出ヲ致シマス

場合ニ、手放シノ綜合供出デアリマス、結局農家ハ出來ルダケ米ヲ殘シテ甘藷ヲ出ス、其ノ甘藷ハ又腐リ易イト云フコトガ致シマシテ、其ノ間供出ヲ實行ヲ致シマスル上ニ於ケル綜合供出ノ代替率ト云フモノハ或程度決メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、馬鈴薯ニ付キマシテハ、麥ノ二割迄ハ宜カラウト云フヤウナ風ニ具體的ニ決メタ地方モアルノデアリマスガ、甘藷ニ付キマシテハ、其ノ代替率ハモウ少シ少クシナケレバ、米ノ二割、假ニ三千萬石ト致シマスルト、二割デハ六百萬石、六百萬石ノ甘藷ト云フコトニナリマス、約十億ニ近イ甘藷ガ入ツテ來ル譯デアリマスカラ、サウ云フ風ニナリマス、相當大變ナコトニナリマス、此ノ割合ノ代替供出ノ率ハウント低メニシナケレバナラナイノデアリマカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカク雜穀ノ供出ノ問題デアリマスガ、御話ニナリマシタヤウニ、日本農林研究所デ私共モ其ノ研究ノ中間報告ヲ伺ツタコトガアルノデアリマス、其ノ後色々補正ヲサレテ完全ナモノガ或ハ出來テ居ルカト思ヒマスガ、私共伺ヒマシタ時ニハ中間的ノモノデゴザイマシタ、御話ニナリマシタヤウニ、麥類等ノ代替率ハ概ス宜イノデアリマスガ、ソレ以外ノ雜穀、特ニ當時私共一番氣付キマシタコトハ、大豆ガ其ノ榮養量、又「カロリ」量ニ較ベテ少シ代替率ガ割合悪イト云フコトデアリマシタ、此ノコトハ從來御承知ノデ物事ヲ考ヘテ參リマシタ爲ニ、比較的ノ問題デアリマスガ、米麥ヲ有利ニシテ、米麥ヲ出來ルダケ多ク出シテ賣フト云フ意味カラ致シマシタヤウ云

フ風ニナツタコトト思フノデアリマスガ、併シ最近ノヤウニ榮養問題ガ特ニ重要視サレ、就中大豆ノ如ク蛋白質源トシテ重要ニナツテ參リマスルト、此ノ代替率ハ直サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、具體的ニ其ノ率ヲ檢討致シテ居リマス、此ノ代替率ノ問題ニ關聯致シマシテ、價格ノ問題ガ同時ニ考ヘラレナケレバナラナイノデアリマス、從來大豆ハ滿洲大豆ニ大キナ影響ヲ受ケテ居ツタノデアリマス、是ハ國內ニ於テ消費サレル大豆ノ八十一パーセント「カラ九十パーセント」以上ノモノガ滿洲大豆デ占メラレテ居リマシタ爲ニ、内地產大豆ハ殆ド其ノ影響力ハナカツタノデアリマスガ、今日ノヤウナ時代ニナツテ參リマスルト、サウ云フ方面カラ申上ゲマシテモ、此ノ大豆ノ價格ト云フモノハ相當ニ引直サナケレバナラナイ問題デアラウ、其ノ根據トシテ、今ノ經濟的ノ事情ノ外ニ、榮養量「カロリ」量カラ見テ補正シテ行ク必要ガアルノデアリマス、價格改正ニ付キマシテハ、サウ云フ觀點カラ實ハ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、尙玉蜀黍トカ稗ニ付テ御話ガアリマシタガ、御話ニナリマシタヤウニ、私共モ其ノ點ヲ伺ツテ居ルノデアリマス、唯本年ハ小農ニ對スル供出割合ハ致サナイ、昨日來申上ゲタ通りニ、還元配給ヲシナケレバナラヌヤウナ農家ニハ供出ノ割合ヲ致サナイト云フ方法ヲ探ツテ居リマスノデ、其ノ邊ハ從來ト或程度違ツタ形ガ出來ルノデハナイカト考ヘマス、大臣ノヤウニ特ニ集荷面ニ於テ特別ノ操作ヲシ之ヲ集メナケレバナラヌト云フ性質ノモノト、然ラザルモノトノ間ニハ區別ヲ設ケナケレバナラヌトハ思ヒマスルガ、

何レニ致シマシテモ、小農中心ノ此ノ供出ノ問題ハ本年カラ相當様子ガ變ツタト云フ風ニ御了承願ヒタイノデアリマス、併シ全般の價格問題ト云フコトニナツテ參リマスルト、私共ハ實ハ農産物ノ價格ハ、他ノ農産物以外ノ價格トノ均衡ト云フ問題ヲ先ヅ第一ニ取上ゲテ居リマスガ、ソレニモ増シテ重要ナコトハ、農産物ノ間ニ於ケル價格均衡ノ問題デアリマス、先般三月二日ニ金融緊急措置令ノアノ一聯ノ措置ガ講セラレマシタ際ニ、農産物價ノ間ノ價格均衡ニ付テハ相當手直シヲシタ積リデアリマスガ、尙難題等ニ付キマシテハ不十分ナ點ガアルコトヲ認メテ居ルノデアリマス、從ツテ今回米ノ價格ト云フモノガ具體的ニ決リマスレバ、ソレニ應ジテ農産物價ノ間ノ價格均衡ヲモウ一度見直スト云フ方向デ進ンデ參リタイト思フノデアリマス、同時ニ綜合供出ノ問題ニ付キマシテモ、合理的ナ基礎ノ下ニ之ヲ作リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵井上勝英君 ソレニ引續キマシテノ問題ナンデアリマスケレドモ、サウ云フ比率トカ、或ハ價格ノ決定等ヲ爲サル場合ニ、専門家ノ委員會ト云フヤウナモノヲ御作リニナル御豫定ナンデスカ、ソレトモ農林省ダケ大體爲サル積リデアリマスカ

○政府委員(橋見義男) 實ハ役所ノ方デモ從來ノ色々調査ハゴザイマスガ、併シ矢張り専門的ノ知識ノアル方々ノ御意見ヲ伺フ必要ガアラウカト考ヘテ居リマス、ソコデ色々サウ云フ問題ヲヤリマス場合ニ、非公式デハアリマスガ、食糧研究所、ソレカラ只今御述ベニナリマシタ日本農林研究所ノ方々ノ意見ヲ實ハ今迄モ再々伺イテ居リマス、又先聲連中デ多年此ノ食糧行政ニ長ク盡精セラレ、其ノ道ノ權威者ト言ハレルヤウナ方々ノ御意見モ其ノ都度伺イテ居ルノデアリマスルガ、何レニ致シマシテモ、サウ云フヤウナ價格ノ問題ニナツテ參リマスルト、私共ノ持ツテ居リマス資料ダケハ不十分デアリマスルノデ、是非サウ云フ方面ノ専門家ノ意見ヲ伺ツテ、サウシテ決定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵井上勝英君 農林省ガ米麥中心ニシテ今迄主要食糧ノ蒐集ヲヤツテ居ラレタト云フコトニ付テハ、是ハモウ當然ノコトト思フノデアリマスガ、是カラ國民經濟ノコトヲ考ヘテ行キマス、何トシテモ食糧ヲ少シデモ多ク國內デ集メルト云フコトガ非常ニ重大ト思ヒマスルノデ、出來ルダケ農家ノ出シ易イヤウナモノカラ先ヅ集メルト云フヤウナ風ニ御努力戴キタイ、ソレカラソレニ引續キマシテ、此ノ強權發動ハ、確ニ相當酷イ農家モアツタノデ當然行ハルベキデアルト云フコトハ私共考ヘテ居リマスケレドモ、昨年ノ秋カラ今年ノ春ノ選舉ノ前頃迄、東北ナンカラ旅行シテ見マス、隨分供出ナンカシナイデモ宜イト云フヤウナコトヲ大分宣傳シテ居リ、其ノ地方ノ指導者ガ困ツテ居ツタヤウナデアリマスケレドモ、是ハ措置令ガ發布サレテ全タナクナツタト考ヘテ宜イノデゴザイマセウカ、所謂十一條ノ發動ト云フコトハナカツタト見テ宜イノデゴザイマス、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイコトハ、昨今ノ馬鈴薯ト麥ノ供出問題デアリマスケレドモ、是ハ米ニ付テモ各府縣ノ實收報告ハ、ドウモ少シ過小評價ト云フ風ニシカ考ヘラレナイノデアリマ

スケレドモ、是ハ農林省デ再検討ヲサ
レルト云フヤウナコトモ新聞デチヨッ
ト拜見致シマシタケレドモ、農民側ト
シテ見レバ少イノヲ望ムノハ當然ダ
思フノデアリマススケレドモ、是モ亦日
本ノ國民經濟上カラ言ツテ非常ニ重要
ナ問題ニナルノデ、其ノ點ニ付テ農林
省ハ何處迄腰ヲ入レラレル御積リデア
リナカ、此ノ點ヲ一ツ承リタイノデア
リマス

○政府委員(補見義男君) 第一段ノ供
出阻碍ニ關スル獎勵行為デアリマス
ガ、具體的ニ此ノ本條ヲ適用致シマシ
テ處罰スルト云フ場合ニ、犯罪ノ内容ガ
極メテ認定困難ナ場合ガ多イノデアリ
マシテ、例ヘバ國ノ政策ニ對スル意見
ノ開陳批評ト云フヤウナモノニ付キマ
シテハ、是ハ實ハ獎勵行為トナラナイ
ト斯ク云フヤウナ解釋ニツテ居リマ
スノデ、具體的ニ事實行為デ以テ、供
出ヲ阻止シタト云フ場合ガ本條ニ該當
スル、斯ク云フヤウナコトデアリマス
ノデ、ナカノ捕マラナイノデアリマ
ス、ソコデ緊急措置令ノ公布前ト、公
布後デアリマスガ、公布前ハ確カニサ
ウ云フコトハ特ニ選舉ヲ控ヘテ居リマ
シタノデ、私自身モソレ等ノ中ノ或政
黨ニ屬シテ居タル人ニ對シテ、個人的
ニ相當強イ注意ヲ與ヘ警告ラシタ事例モ
ゴザイマス、併シ此ノ措置令ガ實施サ
レル空氣ニナリマシテカラ、又實施サ
レルニ至リマシテカラ、相當サウ云フ
連中モ引掛ラナイヤウニ注意ラシテ參
リマシタノデ、其ノヤリ方ハ相當實ハ
變ツテ參リマシタ、併シ今申シマスル
ヤウニ單ナル意見開陳、政府ノ政策ニ
對スル批評ハ、自由デアルト云フ建前
カラ致シマシテ、ドウモ其ノ間紛ハシ
イモノモアツタヤウデアリマス、其ノ

點ハ今申シマシタヤウニ實ハ變リマシ
タケレドモ、ナカノ完全ニウマクヤ
ルト云フコトハムツカシイ問題デアラ
ウカト思フノデアリマス、ソレカラ第
二番ノ生産高ノ過小評價ノ問題デアリ
マスガ、御話ノ如ク農家ハ出來ルだけ少
クシタイ又中間ノ指導者ノ人々モ縣當
局ノ人モ、供出ガ輕ケレバ輕イ程自分
ノ縣内ノ道リ線ガ樂アルト云フノ
デ、特ニ昨年ノ赤字供出等デ相當各縣
トモ苦シイ思ヒヲシテ居リマスノデ、
サウ云フヤウナコトガアルノハ遺憾ナ
ガラ事實デアリマス、結論的ニ申セ
バ、是等ノコトハ輿論ノ力デ是正シ
行クノガ、一番強イ、又的確ナ行キ方
デハナイカト思ヒマスルガ、先日モ御
話申上ゲマシタヤウニ、群馬、千葉ノ極
端ノ過小評價ノ事例ニ對スル、新聞紙
上ニ於ケル攻撃ガ非常ニ大キナ影響ヲ
與ヘテ、是正ヲサレタ例モアルノデ、
リマヘガ、從ツテ輿論ノ力ト云フモノ
ハ非常ニ大キイと思フノデアリマス、
併シソレノミニ俟ツテ居ル譯ニ行キマ
セヌノデ、私共ハ是モ申上ゲマシタコ
トデアリマスガ、農事試験場等デ致シ
テ居リマスル御承知ノ豐凶考照試驗ト
云フモノヲ基礎ニシテ、地方廳ニ押シ
テ、地方廳カラ出テ來テ居リマスル數
字ヲ押返シテ居リマス、サウシテ具體
的ナソレレハ問題ニナル場合ニハ、純
技術者デケデ此ノ問題ヲ解決シヨウデ
ヤナイカ、具體的ニ技術者デケガ集ツ
テ、其ノ生産量ヲ調べ、斯ウ云フ方
法デ進ミタイノデアリマス、我々ト致
シマシテハ相當ニハ大キナ問題デアリ
マスルト同時ニ、進駐軍關係モ極メテ
重大ナ關心ヲ持ツテ居リマシテ、昨年
ノヤウニ米ガスツカリ刈穫ラレシマ
ツテカラ、モウ一度米ノ收穫ヲ調べ直

セト云フヤウナ、指令ニ近イヤウナコト
迄言ハレタコトガアルノデアリマスル
ガ、本年後デサウ云フコトニナリマシ
テモ、事實不可能ナコトヲ強ヒラレル
コトニナリマスルノデ、事前ニサウ云
フコトヲ出來得ル限リ預防致シマスル
爲メ、我々ト致シマシテハ相當此ノ問
題ハ、強腰デ地方廳ニ臨ンデ居ルノデア
リマス、從ツテ其ノ空氣ハ地方廳ニモ
相當徹底致シテ居リマスルガ、併シ何
分ニモ人情ト申シマスカ、出來ルだけ
少クシタイト云フ氣分ハ拂拭スル譯
ニハ參リマセヌノデ、今申シマスヤウ
ニ純技術的ノ問題トシテ、押シテ行ク
ト云フ方法デ進ンデ參リタイト考ヘマ
ス

○子爵井上勝英君 最後ニ肥料ノコト
デ僞ヒタイノデスケレドモ、化學肥料
ノ増産ニ付テハ、既ニモウ方々デ御質問
ガアツタト思ヒマスノデ、伺ヒマセヌ
ケレドモ、現在各地デ非常ニ各種ノ間
接肥料ト申シマスカ、色々ナ肥料ガ亂
賣サレテ、農民ガ此ノ使ヒ方ヤ成分ゼ
ドウ云フモノカ分ラナイノデ、非常ニ
弱ツテ居ルノデスケレドモ、農林省ハ
斯ウ云フモノノ取締ヲドウシテヤツテ、
イラツシャルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ、
又ソレニ現行ト申シテモ殆ド今無視サ
レテ居ルヤウナ、間接肥料取締法ト云
フモノハ、確カ總動員法ニ準據シテ居
タト思フノデ、確カ此ノ九月ノ末デ效
力ヲ失フノデハナイカト思ヒマスガ、
農林省ハ之ニ代ルモノヲ何カ御提出ニ
ナリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(補見義男君) 間接肥料ノ
中デ「インチキ」ナ肥料ガ横行シテ居
リマスルコトハ、御話ノ通りデアリマ
ス、是ハ一面農家ガ肥料ニ對シテ、如
何ニ執著ヲ持チ又欲シテ居ルカト云フ

コトヲ、如實ニ現シテ居ルコトデアリ
マスガ、其ノ趣味ニ付ケ込ンデ、特ニ
終戰後軍需工場ヲ初メ各工場ノ、化學
製品ノ中デ如何ハシイ物ガ、食糧事情
ノ窮迫ニ伴フ所謂物交用トシテ、農村
ニ是ガ流レ込ム、ソレガ又農家ニ大キ
ナ惡影響ヲ與ヘテ居ルコトハ、誠ニ
遺憾ナガラ事實デアリマス、從ツテ此
ノ問題ニ付キマシテハ、私共ハ始終地
方廳ニ警告ヲ發シテ居ルノデアリマス
ガ、同時ニ御承知ノヤウニ、府縣ニハ
肥料検査官、取締官吏ガ各地方廳ニ居
リマスノデ、是等ノ人々ガ中心ニナツ
テ此ノ問題ノ摘發ニ努力ヲ致シテ居
リマス、又此ノ鑑定ト云フコトニナリ
マスル、農事試験場等デ其ノ中心ニナ
ツテ戴イテ居ルノデアリマスガ、是ハ
是非一掃致シマスルト同時ニ、農業會
其ノ他指導方面ニ對シテモ、總ニ之ヲ
告ヲ續テ參リタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ取締ノ問題デアリ
マスガ、御話ノヤウニ、間接肥料取締規
則ハ失効トナル譯デアリマスルノデ、
之ニ代ル行キ方ト致シマシテハ、結局
此ノ物資需給調整法ニ基ク規則デアリ
マスルカ、或ハ他ノ肥料取締法ト云フ
ヤウナモノデ參リマスルカ、マダハツ
キリトハ態度ヲ決メテ居リマセヌガ、
何レニ致シマシテモ、間接肥料ノ取締
ハ是非繼續シテ、其ノ實體ハ殘シテ參
リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○中村藤兵衛君 今御話ノ出タ米麥ノ
生産高ノ統計、是ハモウ先日來大臣カ
ラモ御話ノ通り、ナカノ困難デア
ルト云フコトハマア承知シテ居リマス
ルガ、ソレニ付テ所謂國策ニ依ル所ノ米

麥、地方カラ東京迄持チ込ンデ來ル、
ア、云フモノハ其ノ統計カラ外レテ居
ルモノデセウカ、ドウデセウカ、詰リ
農村デモ保有量一人幾ラ、或ハ又配給
ヲ受ケテ居ル者モアリマスガ、配給量
幾ラ、ソレデ農村ノ人ノ食糧ト云フモ
ノハ、十分ト云フ譯ニハ行カナイ、配
給量四合トシテモ連モ農村ノ人ハ四合
位デハ凌ガナイ、ソレデ農村ガ困ラス
ル、其ノ數量ト云フモノハ相當ナモノ
デアル、其ノ數量ト云フモノハ統計カ
ラ外レテ居ルモノデセウカ、如何ナモ
ノデセウカ、統計外ノモノヲサウシ
隱シテ居ルト云フヤウニモ思ハレル、
ソレハ相當ノ量ニ達シハセヌカト思ヒ
マスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(補見義男君) 御答へ申上
ゲマス、概觀シテ申シマス、今御話
ニナリマシタヤウニ、農家ノ報告數字
ノ外ニ、即チ統計ノ外ニアルモノガサ
ウ云フコトノ用ニ供セラレテ居ルト云
フ風ニ了解致シマス

○中村藤兵衛君 ソレト同時ニ實際問
題デアリマスルケレドモ、農家デ今日
冠婚葬祭ノ場合ニ使フ米ハ相當ノ量ニ
達シマス、私共モ時々出會ハセルノデ
スケレドモ、假ニ御葬式ガアルト、三
俵五俵ノ米ヲ皆近所親戚ノ者ガ集ツテ
消費シテシマフ、ソレハ何處カラ出テ
來ルカト云フト、矢張り何處カラ出
テ來ル、是ハ相當ノ數ノモノニナル、
マア御話ニナラヌヤウナ數量モ食バ込
ム、是等ハ矢張り相當量以外ニ何處カ
ニ藏ツテアルモノデハナイカ、思ヒマ
スケレドモ、矢張り統計外ノモノデセ
ウカ

○政府委員(補見義男君) 矢張り同様
ニ統計外ノモノガ多イデヤナイカト考
ヘテ居リマス

○中村藤兵衛君 來年度ニ於ケル醸造用ノ米、麥、清酒、麥酒ニ使フ……ソレニ對スル割當ハ下ノ位ニナツテ居リマスカ數量ハ

○政府委員(補見義男君) 醸造用ノ米ノ數量ハ御承知ノヤウニ年々減ツテ參リマシテ、昨年ハ米ヲ八十萬石減シテ居ルノデアリマス、今年ハ矢張り色々輸入食糧等ノ見合ヒノ問題、對外的ノ關係モアラウカト思フノデアリマスガ、從ツテ急ニ此ノ數量ヲ殖ヤスト云フ譯ニハ參ラスト思ヒマスガ、カト云ツテ此ノ數字ヲ又減ラスト云フコトハ先

日モ御話ガアツタノデアリマスガ、濁酒トノ割合ノコトニモナリマスカラ、却テ角ヲ縮メテ年々殺スト云フヤウナコトニナツテハイケマセヌノデ、來年ハセメテ本年ノ程度ノモノハ維持シテ行ク、同時ニ一方合成酒ノ方デテ從來酒ノ減シテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ方ハナカ……主要食糧ノ事情ガ窮乏デアリマシタ爲ニ、常ニ計畫ヲ致シテ居リマシテモ主要食糧ノ苦シサノ爲ニ擴張ヲシテ主要食糧ノ方ニ廻シテ居ルト云フコトヲ此ノ二三年前カラ致シテ居リマス、從ツテ本年ハ幸ヒ辛モ製作ノヤウデアリマスカラ、此ノ方デ手心ヲ加ヘテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○名古屋三吉君 今年大變製作ノヤウデ大變喜バシイノデアリマス、併シ斯デ云フ製作ガ來年ノ續クカト云フコトハ私共、到底期待出來ナイノデアリマシテ、處デ現在工場事業場ニ働イテ居リマス勞務者ハ職場ノ加配米ヲ頂戴シテ居リマスガ、併シ到底現在ノ配給量ニ加ヘル加配米位デハ、到底重労働ハ出來ナイ狀態デアリマス、例ヘバ養成工ノ如キ食糧ガ足りナイ爲ニ寄宿

舎ヘ置クコトガ出來ナイノデアリマシテ、皆逃ゲ出スト云フ風ナ狀態デアリマス、サウシテ現在デハ寄宿舎ニ置クコトガ出來ナイデ、大抵ハ家庭カラ通ハシテ居ル、親元カラ通ハセテ居ル、遠クノ養成工ハ探ラナイト云フ風ナ狀態ガ多イノデアリマス、デアリマスカラ養成工ハ皆遠ク親元カラ通ツテ、親元デ相當ノ購買ヒラシテヤツテ居ルト云フコトハ本當ニ隠レモノイ事實デアリマス、處デ斯ウ云フコトヲ防止スル爲ニ工場事業場ノ直接ノ農園ヲ仕事ノ合間々々ニ作ラセ、ソレニ尙專門家ノ者ヲ常ニ雇ツテ置イテ、ソレニ手ノ足りナイ時ニハ工場事業場ノ勞務者ヲ手傳ハセルト云フ風ニスレバ、サウ云フコトガ非常ニ緩和サレルトハナイカ、サウシテ勞務者モ夜業早出ノヤウナ場合ニモ、其ノ農場カラ種レタモノモ食ベサシテ、サウシテ安心シテ能事ヲ舉ゲルコトガ出來ルト私ハ考ヘテ居

ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ニ於テハ事業場ノ直接ノ農場ヲ經營スルコトヲ御認メ下サイマスガ、其ノ農場ニ對シテ供出ヲ免除スルト云フ風ナコトハ出來ナイモノデアリマセウカ、其處ヲチヨツト御伺ヒ致シタイノデス

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上ゲマス、勞務ガ加配米ノ點ハ昨日來申アリマシテ、繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスガ、戰時中四百萬石カラ四百五十萬石モ年間ニ出シテ居リマシタ、一番多イ時ハ確カ五百萬石近ク出シテ居ツタト思ヒマスガ、ソレガ最近デ參リマスト精々百二十萬石カラ百五十萬石ト云フ風ニ三分ノ一程度ニ下ツテ居ルノデアリマス、同時ニ從來ハ重労働者等ノ人々ハ、家庭ニ於テ所謂甲種、

乙種、丙種ト云フヤウナ區分デ、家庭ノ一般配給ニ於テモ一般人ニ比ベテ増加ノ數量ヲ受ケテ、更ニ工場デ加配ヲ受ケテ居リマシタ者ガ、一般家庭配給ニ於キマシテハ一般人ト同様ノ「ベース」ニ切下ゲ、而モ又工場ノ加配世ハ今申シマタヤウニ非常ニ減ツテ參ツテ居リマス、斯ウ云フ事態デ非常ニ苦シイコトハ能ク承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯何分ニモ一般ノ消費者ガ、十五日二十日ト缺配、運配スル際ニ、勞務者ノ方ニソレヲ總テ廻シテ上ゲルコト云フコトハ、社會的ニ考ヘマシテモナカ……困難ナ事情ガゴザイマスノデ、勞務加配ハ最小限度ニ實ハ切下ゲテ賈ツテ居ルノデアリマス、具體的ニ例ヘバ農林省カラ 商工省ニ對シマシテ、商工省トシテ此ノ際ウシテモ暫クノ間ハ我慢シテ賈ツテ居ル、ソレカラ又ドウシテモ是ハ維持シテ行カナクレバナラヌ業種ト云フヤウナモノノ選定ヲ商工省ニ御願ヲシ、又車輛其ノ他ニナツテ參リマス、運輸省方面ニ御願ヲ致シマシテ、ソレハ御選定ヲ願ツタモノニ重點的ニ配給ヲシテ居ル、從ツテ中ニハ石炭ノ採掘ノ方ニハ六合ノ配給ヲ維持シ、而モ其ノ爲ニハ輸入食糧ヲ「イアマック」ヲ致シマシテ一般配給ト分離シテ重點的ニ配給ヲシテ居ルコト云フヤウナ業種モアルノデアリマスガ、併シ全般的ニハ非常ナ切詰メ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、併シ此ノ狀況デ參リマスルト、結局日本ノ産業ノ復興、又再建ト云フモノガソレダカ遅レコトニナル譯ナノデアリマスガ、此ノコトハ一面大飢饉ヲ豫想サレタ本食糧年度ニ於キマシテハ、日本ノ再建復興ガ足踏ヲシ、或ハ延ビテモ大量飢饉ヲ救フ爲ニハ已ムヲ得ヌト云

フ懺悔デ實ハ致シタノデアリマス、併シ幸ヒ該般ノ情勢ハ漸次明朗化ヲ加ヘテ參リマシタノデ、是ハ何トシテモ勞務加配ハ出來得ル限リ増加ヲ致シタイト云フコトデ、御説明申上ゲマシタヤウニ本年度ノ大體三倍程度、年間ニシテ三十五、六萬程度ノモノハ多クシタイ、斯ウ致シマスル結果ハ、石炭ノヤウナ六合ノモノハ是以上殖ヤス必要ハ或ハナイカトモ考ヘマスガ、併シ他ノ業種デ現在切詰メテヤツテ戴イテ居リマスル部面ニハ、増加ヲスル必要モアラウカト思ヒマスルシ、又現在勞務加配ヲ遠慮シテ賈ツテ居ル業種ニ付キマシテハ、新タニ之ヲ附加ヘルト云フコトニナラウカト思フノデアリマス、從ツテ勞務増配ノ問題ニ付キマシテハ、新食糧年度カラハ相當改善ヲ期待サレテ宜イノデハ、ナイカト思ツテ居リマス、從ツテ農園ノ問題モサウ云フ事情ト觀ミ合セテ、色々考慮ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、併シソレト切離シテ考ヘマシテモ、新シク開墾シテ行クコト云フヤウナ場合ノ自家農園ト云フコトハ結構デアリマスガ、現在熟地ニナツテ居ル農地デ、之ヲ應ニ専門家ノ百姓ノ生産力ノ素人ノ生産ニ移シテ、ソレデ生産力ノ下ガルト云フコトデハ、全體ノ生産力ノ觀點カラ見マシテモ必ズシモ得策デハナイト思フノデアリマス、新開田デナシニ熟地田ニ付キマシテハ勞務加配ノ確保ト云フ方法デ進ンデ行ツテ宜イノデハ、ナイカト實ハ斯ウ云フコトヲ只今考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵土屋直君 段々ノ御話デ昨年度產米ノ供出殘額ニ對スル政府ノ御態度ハ大體了解致シマシタクレドモ、私ハ此ノ際農民ノ指導的立場ニオイデニナル當局ニ於テ、昨年ノ供出殘米ニ對スル態度ヲ御確定ニナツテ、今後ノ供出ノ爲ニ明快ナ御態度ヲ執ラレルコトガ必要デアラウト思フノデアリマスガ、當局ニ於テハ昨日ノ御説明ノ通り、今後モ尙昨年ノ殘米ニ對シテ進メル御態度ヲ臨マレルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 昨年ノ供出割當ノ事態ニ於テ、不公正ナコトガアリマシタ場合ハ、是其ノ觀點カラ考ヘ直サナクレバナラヌト思ヒマスガ、併シ合理的ニ割當テラレマシタ供出ニ付テノ供出殘ノ取扱ヒト云フコトニナリマスルト、是ハ昨日來申上ゲマシタヤウニ先ヅ麥及ビ馬鈴薯ノ供出割當ニ際シマシテ、一應第一段ノ措置ヲ致シタノデアリマスガ、併シ尙ソレデ不十分ナ點ハ、引續イテ申告ニ及ブト云フ方法デ進ンデ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵土屋直君 私が先程申上ゲタノハ、昨年度殘米ニ對スル供出方度ニ行ク所迄行ツテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、九州地方ノ如ク、又沿岸地方デ、輕砲射撃ヲ受ケタ準戰場ニ近キ地方ニ於テハ、割當ニ付テモ非常ニ不合理ナモノガゴザイマシタシ、又本年ノ製作ヲ見テノ農民ノ賣急ギヲ見マシテモ、凸凹ノアツタト云フコトハ明カナデゴザイマス、既ニ段段ノ追求ニ依リマシテ、一番各農家ノ生産高ヲ能ク知ツテ居リマス部落内ノ班長ハ、之ヲ能ク心得テ居ルノデアリマスガ、其ノ班長ニ於テ、既ニ行詰ツテ居ルコトヲ見マシテ、自分ノ責任ヲ完フスル爲ニ、大體農民ト云フモノハ

都會ノ人ト黨ヒマシテ、永年其ノ地ニ於テ生活シナケレバナリナリノデゴザイマスノデ、無責任ナ態度ニ出ラレマセヌ、ソレデ班長ニ於テハ其ノ供出ノドウシテ出来ナイ、代替物ヲ以テシテモ既ニ買フ金サヘモナイト云フヤウナ者ニ對シテハ立替ヲ致シテ居リマス、又立替金額ニ付テモ各町村ニ於テ相當問題ヲ起シテ居リマシテ、或ハ班長ニ於テハ一俵ノ供出品ニ對スルモノデアリマスルカラ、本來ナラバ開ダ以テ返シテ賣ハナケレバナリナリモノデアリカラ、六百圓程度ノモノデ金返シテ賣ハバ宜イト申シテ居リマスガ、處ガ村ノ方トシテハ供出品デアルカラ飽ク迄供出價格ヲ返スベキモノデアルト云フヤウナ譯テ結局六百圓ノ半値ヲ取リマシテ三百圓ニ落付イタト云フヤウナコトガアリマシタ、從ヒマシテ去年ノ產米ノ殘高ニ付テハ行ク所迄行ッテ居ルモノト私ハ確信スルノデゴザイマス、ソレカラ今後ノ法令ガ出マスニ付キマシテマア農民ノ性ハ惡ナリト取ラレルハナラバ仕樣ガゴザイマセヌガ、少クトモ農民ノ供出ノ方ニ善導シテ行カウトスル、農民ノ性ハ善ナリト考ヘベキガ至當ト思ヒマスガ、政府ガ農民ニ對シテ信用ノナイト云フコトガ農民ノ政府ニ對シテ信用ガ出来ヌ所以デゴザイマス、是ガ只今ノ國民道德ノ頹廢シテ居ル理由ノ第一條件デナイカト私ハ思フノデゴザイマス、從ッテ此ノ際此ノ新米穀ニ對シテ向去年ノ既ニ各地方ニ於テ人情的ニ解決シテ居ル問題ニ對シテ迄此ノ新米ニ去年ノ殘高ヲ又追求追加スルト云フヤウ云フ御態度ハ如何カト思ヒマス、指導者ノ立場トシテ如何カト思ヒマスノデ、此ノ際去年ノ殘高ニ對シテハ追求シナイカト云フヤウニ確信ア

ル明快ナル御態度ヲ發表セラレテ、農民ノ覺悟ヲ又新タニサレル方ガ宜イト思フノデゴザイマスガ、尙御考慮ノ餘地ガアリマシタラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 只今土屋子爵カラ御話ニナリマシタヤウニ地方的ニ色々人情ヲ加味シテ、其ノ何ト申マスカ、言葉ハ惡イノデアリマスガ、壓力ニ依リ、又其ノ善導ニ依ッテウマク處理シテ居ル所モアルカト思ヒマスガ、是等ノ所ハ勿論問題ハナイノデアリマスガ、私共ガ一番氣ニ致シマスルコトハ、正直者ガ馬鹿ヲ見タト云フ氣分ヲ農村ニ殘シテ居リマスルコトハ、是ハ今後ノ供出ノ面カラ見マシテモ、去年アレ程言ッテ居ッタノニ又正直者ガ馬鹿ヲ見タデヤナイカト云フコトデハ、今後ノ供出ニモ又其ノ他ノ色々ノ農村ニ對スル施策ヲ執行シテ參リマスル上ニ於テモ少カラ又影響ヲ持チ、又政府ニ對スル不信モ更ニ増大スルト云フコトニナル譯デアリマスノデ、ウマク處理シテ出来テ居ル所ハ結構デアリマスガ、ナカノサウ出来テ居リナイ所モ實ハ地方ニ依リマシテハ一二アルノデアリマス、是等ノ所ハ是モ申上ゲマシタコトデゴザイマスガ、市町村食糧調整委員會邊リデモ相當問題ニシテ強權ヲ發動シテ賣ヒタイト云フ希望ヲ出シテ居ル向キモアルヤウデアリマス、斯ウ云フ所ハドウシテモ締メ括リハシナケレバナラヌト思ッテ居リマス、要シマスルニ甚ダ抽象的ナヤウナゴトデ申サナイノデアリマスガ、正直者ガ馬鹿ヲ見タコトノナイヤウニ其ノ點カラ後ノ處理ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス、具體的ニ其ノ地方々々色々ノ事情モアルコトデアリマスルシ、又其ノ地方

ノ事ハ割當自體ノ不公平ノ場合モアリマセウシ、サウデナクテ所謂惡質選家ガ多クテ、又指導層ニ於テモサウ云フヤウナコトデ、全ク地方ハ、是ハ一ツノ縣デ申シマシテモ、一ツノ郡デガサウ云フ風ナ惡イ狀況デ、從ッテ外ノ郡ガ承認シナイ、從ッテ郡内デモ一ツノ村デケガ惡クテ外ノ村ガ承認シナイト、斯ウ云フ非常公平感ノ觀念カラ見タ問題ガ相當地方ニ依ッテハアルヤウデアリマシテ、是等ハ矢張り具體的ニ其ノアト始來ヲ付ケナケレバナラヌデヤナイカト云フ風ニ全體のニハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵井上勝英君 只今ノ農林次官ノ御意見ニハ私非常ニ賛成ナンデスケレドモ、ソレニ付キマシ、伺ヒタイノデアリマスガ、現在七十「パーセント」八十八「パーセント」ノ供出ニ付テモ、結局サウスルト強權發動ガ行ハレルト云フコトニナリマス、徹底的ニ突クト云フ點ニ付テハ私ハモウ確カニ猪イ百姓ト云フモノニ付テ今一番問題ガアルデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、其ノ點ヲチヨツト伺ヒタイト思ヒマス

カ、「カバ」シ切レナイ點ハ新設デ行クト、斯ウ云フ方法デ實ハ私共考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵井上勝英君 サウ致シマス、強權發動ト云フモノハ、モウ殆ド要ラナイト云フコトニナルノデヤナイデセウカ

○政府委員(補見義男君) 處ガ實際ハサウデヤゴザイマセヌデ、サウ云フ風ニ割當ヲ致シマシテモ、何ト申シマスカ、頑迷固陋ト申シマスガ、部落デドウシテモ出サナイ者ガ、現ニ矢張り麥ニ付キマシテモアル譯ナンデアリマス、從ッテ先程申上ゲマスヤウニ、モウ食糧調整委員會ガ承認ヲシナイト云フコトデ、強權發動ヲ申請シタイト云フヤウナ意圖モ傳ヘテ來テ居ルヤウナ所モアル譯デアリマス、從ッテ強權發動ハサウ云フ地方ニハヤラナケレバナリナイシ、又ヤル必要ガアラウカト思ヒマス、サウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵土屋尹直君 只今ノ御話デ大體了解ハ致シマシタガ、世ノ中ハ民主主義ニナッテ居リマシテ、一般ノ農民ノ考モ、政府ニ對スル態度ニ付テモ餘程變ッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ本年ノ新米ニ對スル割當デサヘモ、私ハ割當時期ハ決シテ早クハナイト思ヒマス、既ニ遲レテ居ルト思ヒマス、此ノ點ニ於テ本年ノ產米供出ガ稍々成績ガ惡イトスレバ、此ノ豐作ヲ以テ量ハ既ニアルノデゴザイマスカラ、是ハ政府ニ責任ガアルモノト思ヒマス、殊更ニ昨年ノ割當遲延ト云フコトハ、是ハ本年ノ強權發動ガ或ハシナケレバナラナイ最モ大キナ原因ヲナシタモノデアルト思フノデゴザイマス、サウシマス

○政府委員(補見義男君) 其ノ點ハ先程申上ゲマシタヤウニ、地方ニ依ッテハ、全體ガ一部ノ人ノ處置ニ對シテ、ソレコソ納得ヲシナイト云フ、何ト申シマスガアルノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、一ツノ郡ノ或部分デケガイケナイ、ソコデ其ノ郡ノ、他ノ村ハ勿論デアリマスガ、縣下全體ガ、云フ不始末ヲ其ノ儘放ッテ置イテ、ソレデ今年モ亦我々ニヤラセルノガ、斯ウ云フ風ニマハリガ承認シナイ、斯ウ云フ場合ニハ、寧ろ其ノ觀點カラ申セバ、全體ノ人ガ氣持良ク、政府ヲ信頼シテ呉レ、又氣持良ク出シテ呉レル爲ニハ、サウ云フ非難ニ應ヘルダケノ措置ハ構ジナケレバナリナリノデアリナカ、斯様ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、全體ノ考ヘ方ニ付テハ、正直者ガ馬鹿ヲ見タト云フ不公平ナクシ、サウ

云フヤウナ見送シノ下ニアリマシテハ、ドウシテモ此ノ點ガ私共ハ懸念ニナルノデアリマス、特ニ輸入食糧問題ヲ考慮シ入レ、事實輸入食糧ヲ相當入レナクレバナナイ狀態ノ下ニ於キマシテハ、國內ニ於テ相當策ヲ講ズルコトガ輸入食糧ヲ得ル上ニ於テ極メナ悪イ影響ヲ持ツコトモ、過去一年ノ私共輸入食糧ニ付テ色々向ウ側ト接觸シ、又本國側ノ意嚮ト云フモノヲ間接ニ承知致シマシタ範圍ニ於テ判斷致シマスレバ、到底サウ云フコトハ望メナイ、斯ウ云フヤウナ意味合カラ先日申

上ガタヤウナ次第アリマス、ソコデ
從ツテ自由販賣ノ點ハサウ云々タ色々
「アリキート」ナ問題ガアリマス、
私共ハ執リベキデナイ、斯ウ云フ風ニ
考ヘテ居リマス、其ノ點御了承願
ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ
輸入食糧ノ點デアリマスガ、是ハ速記
ヲ止メテ……

○委員長(伯爵黑田清君) 速記ヲ止メ
テ

(速記中止)

○委員長(伯爵黑田清君) 速記ヲ始メ
テ

○松本學君 只今ノ御答デ大體狀況ガ
分リマシタカラ、此ノ質問ハ是デ打切
リマス

○委員長(伯爵黑田清君) ソレデハ午
前ハ是デ終リマス、午後ハ一時半カラ
開キマス

午前十一時五十六分休憩

午後一時四十一分開會

○委員長(伯爵黑田清君) ソレデハ是
カラ午前ニ引續キテ委員會ヲ開キマス
○松本學君 後モウ一ツニ御尋シテ
見タイト思ヒマス、是モ或ハ誰方カ御
尋ニナツタカモ知レマセヌケレドモ、
若シ重複スルコトニナリマシタラ委員
長カラ御注意下サイ、ソレハ此ノ度ノ
供出ノ計畫ハ、農家ノ保有米ヲ食糧ト
カ、種子用ニ引去ツテ、其ノ後ヲ供出
サセルト云フコトニナツテ居リマス、
デ、本年ノ供出計畫トハ大分形ガ變ツ
タヤウニナリマシタ、本年ノハ全面
的ナ供出ト云フコトニナツテ居リマシ
テ、サウシテソレヲ還元配給スルト云
フコトニナツテ居リマスガ、是ハ誠ニ
一ツノ案トシテ改善サレタモノデアラ
ウト思ヒマスガ、此ノ度ノ供出決定

ノ基礎、サウ申シマスルノハ農家保有
量ヲ引去ツタ後全部ヲ供出サセルト云
フコトニナルノデアリマセウカ、ソコ
ヲチヨット承リタイノデアリマス
○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上
ゲマス、此ノ問題ハ實ハ農家ノ生産意
欲ノ向上ノ問題トモ關係ヲ持チ、又從
テ供出完了後ノ餘剩米ノ自由販賣ト
云フ問題モ同ジ生産意欲ノ向上ト云
フ觀點カラ色々論議サレタコトハ御承
知ノ通りデアリマス、ソコデ供出デ一
番問題ニナリマスルコトハ、精米、情
農ニモ同ジ程度ニ割當スル、從ツテ
其ノ爲ニ一面精米カラ見マスルト、努
力ヲスレバシタダ總テ供出トシテ取
リ上ゲラレルト云フ點ニ一面非常ニ不
平ノ聲ガ生ジテ居ツタ譯デアリマス、
ソコデ色々私共實ハ其ノ點トドウ云フ
風ニ適合セテ考ヘタルコト云フコトニ付
テ檢討ヲ致シタルデアリマスガ、結論
トシテハ、結局今年基準量ト申シマス
カ、基準生産量ト云フモノヲ基礎ニ致
シマシテ、例ヘバ天候ノ狀況、又肥料
ノ施肥ノ狀況、斯ウ云フモノカラ見テ
基準生産量ト云フモノバ、例ヘバ此ノ
地帯ノ此ノ田デアレバ、反當六俵ナラ
六俵ト云フモノヲ基礎ニシテ割當テ
テ、ソレカラ保有量ヲ引イタ殘リヲ割
當スルヤウニシテ行ク、サウシテ其ノ
基礎生産量以上ニ生産サレタト云フモ
ノハ、結局農家ノ特別ノ努力ニ依ルモ
ノデアリマスルカラ、サウ云フモノハ
結局割當以上ノ供出ト云フコトニナル
譯ナンデアリマス、其ノ割當以上ノ數
量ヲドウ云フ形デ正常ノ「ルート」ニ取
ルカ、自由販賣ノ場合ハハ勿論正常
ノ「ルート」ニハ入ツテ來ナイ譯デアリ
マスガ、之ヲ致サズニ正常ノ「ルート」
ニ引キ入レルト云フ場合ニ、其ノ引キ

入レ方ヲドウ云フ方法デ引キ入レタラ
宜イカト云フコトガ問題ニナルノデア
リマス、ソコデ私共ノ現在考ヘテ居リ
マスルコトハ、割當量以上ノ、サウ云
フ特別ノ努力ニ依ツテ得タ米ヲ報償
金、割當以上ノ供出ニ對シ報償金制
度ト云フモノニ依ツテ農家カラ出シテ
賣フ、斯ウ云フコトヲ實ハ考ヘテ居ル
ヤウナ次第デゴザイマス

○松本學君 サウシマス、保有量
云フモノヲ引キ去ツタ後全部供出スル
ト云フコトニ今度ハナツタ譯デアリマ
スガ、サウシマス供出ノ基礎ハ、配
給ノ面カラ見テ一人當リ何合配給ト云
フコトヲ計算シテノ御決定デハナク
テ、結局保有量ヲ引キ去ツタ數目ヲ目
當ニシタイト云フコトニナル譯ナンデ
アリマスネ

○政府委員(補見義男君) サウ云フコ
トニナル譯デアリマス

○松本學君 ソレカラ此ノ度ノ供出量
ト云フモノハ、甘藷、馬鈴薯ノヤウナ
薯類モ包含シテ居リマセウカ、米ガケ
ノコトニナツテ居リマセウカ

○政府委員(補見義男君) 其ノ點ハ結
局給金供出制度ト云フ觀點カラ致シマ
シテ、甘藷モ考慮ニ入レテ居リマス、
ソレデ先日來モ申上ゲタコトデアリマ
スガ、四合ノ農家保有ト云フモノノ中
デ、全國的ナ達觀ヲ致シマスルト、七
十七・五「パーセント」ト云フモノガ米
ニナリ、二十二・五「パーセント」ガ其
ノ他ノ食糧ニナルノデアリマス、勿論
是ハ東北ノヤウナ米ノ單作地帯ニ於キ
マシテハ、其ノ比率ハ多小、米ガ多イ
ノデアリマスガ、大體從來ノ消費實績
ト云フモノヲ考慮致シマシテ、サウ云
フヤウナ割當ヲ致スコトニナツテ居ル
ノデアリマス

○警備總監 此ノ強權發動ノ法令
ハ、先程來農林大臣ノ御説ヲ承ルト、
傳家ノ實刀デアアル、傳家ノ實刀トシテ
之ヲ存シテ置クト云フナラバ、傳家ノ
實刀ハ鞘カラ之ヲ抜キ放ツテ實行ニ移
シタルノデアリマス、實刀ハハナクナツテ
シマノデハ傳家ノ實刀トシテ置クナラ
バ、モット自軍シテ之ヲ實際ニ實行シ
ナイ、巡查ナンカラ使ツテ家宅搜索ヲ
ヤラナイデ置クベキデアツテ、今迄ヤ
ツタヤウナ例デアレバ、傳家ノ實刀ト
シテノ效力ガ却テ農民ノ反感ヲ招ク、
サウシテ實刀トシテノ效力ト、反感ヲ
招イテ供出ヤ何カノ意欲ヲ阻止スルト
云フコトヲ差引キシタナラバ、私ハ寧
ろ害ノ方ガ多インデヤナイカト思フ、
サウシテ供出ノコトヲチヨット考ヘル
ト、農家ガ供出ヲスルノニハ、相場ノ
問題ト、ソレカラ色々ノ事情ガ關係シ
テ來ルノデ、例ヘバ農地法ノ如キモ、
生産増加ト供出ヲ滑カニスルコトガ攔
ミ所デアル、斯ウ云フヤウニ承ツテ居
ルケレドモ、事實ハ私ハ之ニ反スル傾
向ヲ示シデヤナイカト斯ウ考ヘラレ
ルノデアリマス、ソレハ何デアルカト
云フト、地主ガ澤山ノ小作米ヲ取ツテ
モ保有米ヲ引イタ後ハ全部供出スルノ
デスガ、之ヲ個々ニ小サク小作人ニ割
當テテ賣ツテシマヘバ其ノ米ハ纏メテ
供出シナイデ、例ヘバ米ハ自分ノ扶持
ダケアレバ宜シイ、他ノ金ニナルモノ
ヲ主力ヲ盡シテ、全力ヲ擧ゲテサウ云
フモノヲ作ツテ増産ヲ圖ル、地主ニハ
金デ納メサヘスレバ宜シイト云フコト
ニナレバ、米ヲ取ルト云フ方ニ付デハ
頗ル冷淡ニナリハシナイカ、サウスル
ト、政府ノ狙ヒ所ノ増産ト云フモノガ
反對ノ結果ヲ齎ス、金納モ其ノ通り
デ、所謂金ヲ納メバ宜イト云フコト

ニナルノト同時ニ、米ノ方ノ増産モ目
的ガ外レル斯ウ云フ結論ニナツテ、而
シテ強權ヲ今後用ヒテヤルト云フコト
ニナルト農家ノ意思ヲ擧ムコトガ出來
ナイデ、政府ノ反對ノ傾向ニナルモノ
デスカラ強權ヲ發動シナケレバナラス
結論ニナルノデアリナイカト斯ウ考ヘラ
レル、此ノ政府ノ考ト我々ノ民間ニ於
ケル實情ヲ調査シタル所カラ考ヘルノト
擧ミ所ガ違ツテ居リヤシナイカスウ考
ヘラレマス、此ノ點ヲハツキリ一ツ私
共將來ノ爲ニ政府ノ所見ヲ伺ツテ置キ
タイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 全體ノ問題
トシテ傳家ノ實刀ノ效用ノ問題デアリ
マスガ、是ハ仰セニナリマスヤウチ、
傳家ノ實刀ハ出來ルダケ之ヲ拔カズニ
事態ガ切抜ケラレルト云フコトガ一番
望マシイ行キ方デアリマス、此ノ意味
ニ於テ傳家ノ實刀モ效用ガアル譯デア
リマスガ、一面ドウシテモ、イザ鎌倉
ノ場合ニドウシテモ拔カナケレバナラ
ヌ、其ノ事態ニ於キマシテハ已ムヲ得
ズ拔ク譯デアリマスガ、現ニ昨年ノ事
例ノ依リマシテモ、アノ緊急措置令ガ
出來ル迄ノ狀態ハ御承知ノ通りデアリ
マスガ、緊急措置令ガ出來マシテモ、
當時ノ一般情勢又一部ノ指導者ノ人々
ノ指導ノ在リ方ヲ見テ見マス、此ノ
傳家ノ實刀ニ對シテ實ハ傳家ノ實刀ガ
傳家ノ實刀デアナイヤウナ風ニ認識ヲシ
テ居ル向ガアリ、又指導ヲシテ居ル向
モアツタコトハ事實デアリマス、言
ヒ換ヘテ申シマスルト、此ノ傳家ノ實
刀ヲ見繼ツテ結局政府ハ斯ウ云フ勅令
ガ出來タケレドモ、能ウ拔カヌダラウ
ト云フヤウナコトモ一部ニアツタノデ
アリマス、私共ハ傳家ノ實刀トシテ出
來ルダケ拔カナイコトガ望マシイノ

七

デアリマスカラ、又其ノ事前ノ盡スベキコトハ十分ニ盡サナケレバナラヌト考ヘマシテ、先ツ以テ發覺狀ヲ認メタルト云フ措置ヲ講ジタノデアリマス、其ノ結果強權措置ノ具體的ノ發動ニ依ツテ得マシタ數額ハ、本會議及ビ委員會ノ御説明申上ゲマシタヤウニ、數量的ニハ三千石ニ足ラヌ極メテ少量デアリマス。大體ハ地方ニ依ツテ多少違ヒマス。ケレドモ三月三十一日ヲ期限トシテ報告狀ヲ發シタ地方ガ多イデアリマスガ、サウ致シマス、三十日トカ三十一日ニ一日ニ五萬俵カラ十萬俵モ出タヤウナ次第デアアルノデアリマシテ、結局ハ其ノ意味ニ於テハ傳家ノ實力ノ粗ヒラ達シタト思フノデアリマスガ、事實供出ノ狀況カラ見マシテモ、一月カラ漸次出盛リニ一月ノ上旬、中旬、下旬、二月ノ上旬ト云フ風ニ漸次又相當ノ「カーヴ」ヲ描イテ急降下シテ參リマシタ供出狀況ガ緊急措置令ノ制定ニ依ツテ上向イテ參リ、是ガ又ズツト急「カーヴ」デ上昇シタト云フ事例ニ徴シマシテモ、明カニ此ノ傳家ノ實力トシテノ役割ヲ果シ得タモノト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、併シナガラ粗ヒラシテ、又重ミトシテ、飽ク迄出來ルダケ之ヲ抜カズニ其ノ效用ヲ果スト云フ點ニアルコトハ仰セノ通りデアリマス、ソレカラ次ニ農地法トノ關係デアリマスガ、結局供出ノ面カラ見テノ色々ノ考ヘ方モアラウカト思フノデアリマスガ、一面更ニ突キ進ンダ日本ノ農業經營、又今後ノ農村ノ在リ方、所謂農村ノ民主化、又農業經營ノ自主化、民主化ト云フ、モット掘リ下ゲタ大キナ觀點カラ今回ノ土地制度ノ改革ト云フ問題ガ行ハレテ居ルノデ

アリマス、勿論此ノ粗ヒラソレニ依ツテ經營ノ基礎ヲ與ヘ、又再生産力ノ昂揚ヲ圖ツテ行ク、結局全體トシテノ今後ノ經營ノ合理化、又増産ノ達成ト云フ點ニアルノデアリマシテ、結論トシテハ結局供出ニ付キマシテモ源ノ生産ガ殖エルト云フ所ニ粗ヒガアルノデアリマス。斯ウ云フ方向デ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、尤モ此ノ轉換期ニ於キマシテハ相當移リ變リガウマクイカスト云フ場合モ出テ來ヤウカト思ヒマスガ、長イ眼デ見マシタ場合ニ於キマシテハ、結局目的ガ達成セラレルノデハナナカ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス。

○普通重雄君 私ハ先日農林大臣ガ言ハレタ通り、昨年ノ供出ノ惡イト云フコトハ、色々ノ原因ガアツテ供出ノ工合ガ惡カッタノデスケレドモ、是ハ主トシテ政府ガ施策ガ惡カッタト云フ爲ニ出來ナカッタノト、去年ハ凶作ヤキト云フ點ヲ高ク上ゲタモノデアリマスカラ、一體米ガ足ラヌト云ツタカラ、誰デモ供出ヲ鈍ツタノデアリマスケレドモ、其ノ供出ノ鈍ル原因ハ、先ニモ私ガ言ツタ通り例ニ依ツテモ分ルノデ、先ニ一圓ヤ二圓デ出シタモノガ出シ抜ケニ農林省ヤ東京都ガ千葉縣ヤ、埼玉縣ニ行ツテ五圓デ買ツタ、サウスルト後ノ者ハ高ク買ツタト云フコトガ影響シタ、米デモ其ノ通りデ米ノ値段ト、割當ガ第一ニ過レタ、其ノ次ニ値段ヲ引上ゲタノガ一月カ二月頃ダト私ハ思フガ、私共貴族院デ五班ニ分ツテ全國ヲ觀察シテ參リマシテ、サウシテ地方ノ作柄ノ供出ノ狀況ヤ、色々ノコトヲ調査シテ、懇談會ヲ開イテ農林大臣ニ、其ノ時ニ私ハ米ノ相場ヲ

ガ、抑メヤラナケレバナラナイヤウナ事情デアッタダラウケレドモ、ソレニ依ツテヤツタノデハナナカシテ、各種ノ事情ト綜合シテ供出ヲシナカッタ、ソレカラア、云フコトヲヤツタカラ出タノデスガ、ソレヲ何處迄モ、何時迄モ保存シテ置クコトハ私ハ必要ナイト思フ、今年ノヤウナ豐年ノ時ニハ自由販賣ノヤウナ形式デ、農林省ハ地方ノ供出割當ヲ、地方ノ人ノ、町村農業會ナリ若シハ實行組合ナリ、色々ナモノノ民意ニ依ツテ割當ヲシテ、サウシテソレヲ信用シテ、アンナ傳家ノ實力ナシカハ取ツテシマツタ方ガ私ハ寧ロ農民ガ好意ヲ以テ出ス、斯ウ云フヤウナ結果ニナリハナイカ、併シナガラ米ト云フ問題ハ直チニソレガ出來ナケレバ、私ハ諸ダケデモ供出ヲ九月、十月、十一月ト云フ此ノ三期ニ分テ割當ヲシテシマツテ、ソノ割當ヲ出シ終レバ宜イノデカラ、其ノ間ハ確認サヘアレバ、出スト云フコトヲ責任ヲ負ツテ、農會ヤ實行組合ナリノ委員ガ引受ケレバ、後ハ自由販賣ダト云フヤウナコトハヤツタ方ガ寧ロ好イト考ヘラレ、私ハ諸ダケデモ願ヲ持ツテ居ルノデスガ、政府ハ此ノ點ニ付テ一ツ御考慮ヲ願ヒタイ。

○政府委員(補見義男君) 此ノ緊急措置令ノ分配ノ問題デアリマスガ、勿論供出制度ノ實施ニ當リマシテハ一番大事ナコトハ割當ノ公正的確ト云フコトデアリマス、從ツテ此ノ觀點カラ市町村食糧調整委員會、或ハ道府縣ノ食糧委員會云フヤウナ民主的ナ機構ヲ十分ニ活用シマシテ、從來ノヤウナ官僚的、天降リナ又秘密主義ヲ公開主義デ以テ民主的ニヤツテ行カウト云フコトデ、本年カラ供出制度ノ改革ヲ致シマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ問題ハ結局民主的又ハ自主的ニ是ガ實行サレテ居リマスガ、斯ウ云フ制度ガ存続シテ居リマス以上、其ノ締結リトシテドウシテモ斯ウ云フヤウナ處置ガ必要デナイカト思フノデアリマス、從來ノ色々ノ自主的統制ノ場合ニ於キマシテモ、其ノ裏打ト云フコトハドウシテモ必要デハナイカト思ヒマス、唯之ヲ發動致シマス際ニ此ノ發動形式ニ付テ、官ノ一方のナ意思ニ基イテヤルト云フコトニナリマスレバ、折角サウ云フ他ノ一面ニ於テ民主的ナ行キ方ヲ致シマシテモ、其ノ實力ヲ預ツテ居ル所ガ無暗失態ニ之ヲ使フト云フコトニナリマスレバ、結局其ノ目的ヲ達シナイ譯ナラデアリマス。レマス所ノ委員會ノ活動ニ依ツテ、我々ガ斯ウ云フ風ニ決メ、又斯ウ云フ風ニヤラウトシテ居ル、併シドウシテモ此ノ強權ヲ發動シテ貰ハナケレバ困ルノデト云フ申請ガアツタ場合ニ限ツテ、此ノ措置ヲ發動致サウト云フコトデアリマシテ、自主的統制ト申シマスガ、ソレノ裏打ノ措置トシテ之ヲ存置サセテ行カウ、此ノ事ハ最初ニ申上ゲマシタヤウニ、供出制度ト云フモノヲ存続シテ置ク以上ハドウシテモ必要デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ諸ノ問題ニ付テノ御尋デアリマスガ、私共モ本年ノ諸ノ處置ニ付キマシテハ、出來ル限りハウマク一ツ使ヒタイ、結局御承知ノヤウニ早掘ノ諸、之ヲ利用致シマスコトガ、本年ノ食糧事情カラ致シマシテ、端境期ヲ緊ク最モ大キナモノデア

及ビ麥端端期ヲウマク、尤モ一部新米、早場米ヲ考ヘテ居リマシタケレドモ、大筋ハ馬鈴薯ト麥デ此ノ端端期ヲ切抜ケテ行キタイト云フコトヲ當初考ヘテ居リタリマシマスガ、御承知ノヤウニ馬鈴薯及ビ麥モ豫想ニ反シマシテ、好イ收穫ヲ得ナカッタ爲ニ、結局其ノ中間ヲ輸入食糧ヲ緊ギマシテ同時ニ、此ノ大端端期ニ際シマシテハ、此ノ早場甘藷ト云フモノガ大キナ役目ヲ果スコトニナッタノデアリマス、從ヒマシテ早場獎勵金、是ハ實際ハ事實早場ノモノハソレダケ收量モ少イノデアリマスカラ、ソレハ皆澤サン御承知ノ通りデアリマス、ソレニ「カパー」スルト云フ意味モアル譯デアリマスガ、早場甘藷ニ對シテ相當思ヒ切ツタ獎勵金ヲ出シテ、之ヲ出來得ル限リ此ノ大端端期ニ多ク利用シテ行キタイ、サウスルコトニ依リマシテ、爾後ノ最盛出過期ニ於ケル甘藷ト云フモノノ出廻數量ガ幾分カデモ先觸レニ利用サレルト云フコトニ依ツテ、其ノ一ツノ條件ハ緩和サレルトコトニナル譯デアリマスガ、ソレト同時ニ、是モ御承知ノ通りデアリマスガ、澱粉工場ガ本年ハ昨年ニ比較致シマシテ四五百程度ノモノガ澱粉工場トシテ從來ニ比ベマスト殖エタノデアリマス、斯ウ云フヤウナ原料工場或ハ午前中モ申上ゲマシタ「アルコール」原料ト云フヤウナ加工方面ニモ本年ハ久方振リニ滿腹狀態ニ見込メルノデハナイカト考ヘテ居ルノデ「ザイマス」、更ニ受入口致シマシテハ、御承知ノヤウニ生鮮食料品ノ不足シテ居ル狀態デアリマスカラ、一部ヲサウ云フ方面ニ轉用シテ、又味噌等ノ需給狀況モナカ「樂觀」ヲ許サヌ狀況デアリマスルノデ、此ノ方ノ増量用ト

シテ、之ニ或程度ノ相當數量ヲ期待セザルヲ得ナイノデアリマス、斯ウ云フ風ニ各方面ニ於テ、諸ノ需要ト云フモノガ非常ニ多イノデアリマスカラ、ヤリ方ヲ巧ク、特ニ計量出荷、計量輸送ト云フヤウナコトモ、併セテ十分考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ色々ノ點ニ付テ、巧ク諸ノ振ッテ行キタイ、實ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ所、主要食糧トシテ取扱フ居ル此ノ諸、特ニ松本サンカラノ御尋ネニ對シマシテ、御答ヘ申上ゲマシタ通り、主要食糧ノ問題ニ對シマシテハ、非常ニ「デリケート」ノ問題モアリマスカラ、諸ノ統制ヲ廢ストカ、或ハ供出完了後ハ自由ニスルコト云フヤウナコトハ、政府ト致シマシタハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、其ノ邊ノ事情ヲ能ク御了承願ヒタイト思フノデゴザイマス

○子爵土屋直君 今ノ點ニ關係致シマシテ、只今ノ諸ノ供出後ノ自由販賣ニ付キマシテ、私ハ賛成スル者デゴザイマスガ、ソレヲ致シマセヌト、殘リノモノハ、大體ニ於テ農業者ノ割當トシテ、澱粉工場へ割當出荷スルト云フヤウナコトニ、強制サレルヤウナコトニナルノデゴザイマス、然ルニ澱粉工場ノ製品ニ對シマシテハ、兎角ノ批評ガゴザイマシテ、丁度現在ゴザイマス元ノ地方木材會社、或ハ日本木材統制會社ニ於テ割當基礎ダシ、アソコニ新團ガ集マツテ居ルト云フノト同ジヤウナ譯デゴザイマシテ、配給「ルート」ニ乗ツタ點ニ付テハ、サウ云フ「インテキ」ハ行ハレナイノデゴザイマスガ、澱粉工場ニ入ツタ點ニ付テハ、兎角ノ批評ガゴザイマス、ソコデ政府ニ於テハ特ニ澱粉工場ニ付テ、其ノ會計ノ檢

査ヲ大イニ嚴ニサレナイト云フト、農民ノ間ニ於テ、殘存諸ガ自由販賣ガ出來ナイト云フノデ、縛リツケラレテ居ナガラ、而モ農業者ノ命令ガ澱粉工場ニ供出シタモノニ付テ、インテキガ行ハレルト云フノデ、非常ニ反感ヲ來セモノト私ハ思フノデゴザイマス、ソモ單ニ今迄同ジテ居ル自由販賣ハ出來ナイト云フ、統制ノ技術方面カラダケデハナク、實情ニ即シテ別ノ方法ヲ以テ澱粉工場ノ取締ヲ、嚴ニシテ戴キタイノデゴザイマス、ソレカラ是カラ伺ヒタイコトガゴザイマスガ、此ノ強權發動ヲイザ行フコト云フ段取ニナリマシタ時ニ、自主的統制審議機關ト致シマテ、各町村ノ委員會ニ託スルト云フ仰セデゴザイマスガ、此ノ委員會ノ構成委員ノ内容ニ依リマシテ、折角ノ精進デアルカ農業者ケルカト云フコトガ決定サレルトコトニナルノデゴザイマス、此ノ委員會ノ内容ハ非常ニ重大問題ヲ地方ニ與ヘルモノト思フノデゴザイマス、此ノ委員會ノ構成ニ付キマシテ、或ハ政府ニ於テハ、農地調整法ニ於ケル農地委員會ノ如ク、地主ガ何人、小作人ガ何人、地方ノ有識者トカ、有能者トカ、技術員トカサウ云ツタ者ヲ何人、ト云フ構成ニ遊バス御積リデアルカ、此ノ點ハ私ハ地方ニ於テ農民黨ノ如キ共產黨分子ガ、一人デモ入りマシタ場合ニ於キマシテ、地方ヲ混亂スル虞ガアルト思ヒマス、此ノ委員會ノ構成ニ付テ承リタイト思フノデゴザイマス

○政府委員(補見義男君) 食糧調整委員會ノ市町村ノ方デゴザイマスガ、此ノ方ハ耕作農民ノ中心ト致シマシテ構成シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ方法ト致シマシテハ、農家ノ選舉等ニ依ツテ致シタイト存ジテ居リマス、サウシテ其ノ外ニ部落會長デアリマス、或ハ部落ノ實行組合長、斯ウ云フヤウナ人々モ同時ニ構成員トシテ考ヘテ居リマス、大體サウ云フヤウナ構成デアリマスガ、併シソレ以外ニ其ノ村ノ實情ヲ知ツテ居リ、又生産農家トモ始終接シテ居リマスル検査員デアリマスルトカ、或ハ農業者ノ役員デアリマス、斯ウ云フヤウナ人々モ其ノ場合必要ガアレバ、臨時委員トシテ附加ヘテモ宜イ、主體トシテハ飽ク迄耕作農民ノ中心ニシ、ソレト部落會長、斯ウ云フヤウナ人々ヲ中心トシテ、考ヘテ行キタイト存ジテ居リマス、ソレカラ道府縣ノ食糧委員會ノ方デゴザイマスガ、是ハ縣全體ノ食糧問題ヲ廣イ範圍カラ取扱ツテ責フコトニシテ居ルノデアリマスガ、申上ゲマシタガ、此ノ食糧調整委員會ハ、生産量ナリ或ハ供出ノ割當、或ハ其ノ見返ノ資材、斯ウ云フ風ナモノノ割當トカ、サウ云ツタモノヲ主トシテヤルノデゴザイマス、主トシテ供出中心ノ仕事ヤル委員會デアリマスガ、府縣ノ方ニナリマス、全體ノ消費者ノ立場カラモ、食糧問題ヲ取扱フ、例ヘバ「ア」ノ町村デ村全體ガ惡質ノ者デ、ドウシテモ皆ガ明カヌト、公正ナ割當デアルニモ拘ラズイカヌ、單ニ市町村食糧調查委員會ダケノ手ニ委ネテ置キマス、其ノ村デハ強權發動ガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマスルガ、サウ云フ場合ニ縣ノ食糧調整委員會ニ於テ、生産者ノ立場ト同時ニ、消費者ノ立場カラモ見テ、妥當ト思ハレル場合ニハ、強權發動ノ申請ヲスル機關ニスル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマスルガ、サウ云フ工合ニ縣ノ食糧委員會ハ、生産者ノ

代表ノミナラズ、消費者ノ代表或ハ政黨方面ノ代表者、斯ウ云フヤウナ各方面ノ人々ニ入ツテ構成マシテ、構成ヲ致シタイ、斯ウ云フヤウニ實ハ考ヘテ居リマス

○子爵土屋直君 只今段々同ジテ居リマス、現在供出關係ヲシテ居リマス農業者ノ役場ノ役員、検査員、ソレカラ各部部長、部落員、部落ノ班長、ソレ等ノ諸合デ以テ、大體實際ハ圓滑ニ運行シテ居ルノデゴザイマスガ、只今ノ委員會ノ末端構成ニ付キマシテ、現在ヤツテ居ル人達ト變ラナイ者ガヤルヤウニ、大體私ハ了解シタノデアリマスガ、其ノ委員會ノ數ニ付キマシテ、耕作農民ヲ主體トスル存在デアリマシタガ、然ラバ耕作農民カラ何人、何カラ何人ト云フヤウナ數ニ付テノ御規定ガゴザイマセウカ、或ハ斯ウ云フ風ニ現在ヤツテ居リマスヤウナ儘供出關係者ニ扱ヘルノデゴザイマス、其ノ點ヲハツキリ致シテ置キマセヌト云フト、何シヨ養蠶、惡農ノ獵ヲ作ルモノデゴザイマス、相當ナ影響ガアルト思ヒマス、同ヒタイト存ジマス

○政府委員(補見義男君) 人數ニ付キマシテハ正確ニ決定ハ致シテ居リマセヌガ、大體一部落カラ耕作農民ノ代表トシテ一人、部落會長一人、ソレニ農業會長ト云フヤウナ人ガ入りマスカラ、大體部落ノ數ノ倍ヨリモ多クナルト思ヒマス、人數トシテハ大體サウ云フコトニナラウカト思ヒマス、唯從來ノ供出委員會ト多少違ヒマス點ハ、是ハ所ニ依リマシテハ供出委員會ノ委員長ハ市町村長ガヤツテ居ラレルノデゴザイマスガ、今回考ヘテ居リマス點ハ、供出割當ノ責任者ハ飽ク迄市町村長デアリマスルガ、其ノ市町村長

ノ諮問ヲ受ケテヤル委員會デアリマス
ノデ、其ノ委員長ハ此ノ委員互選ニ
依ツテ決メタル云フ風ニ市町村當局ト
ハ離シテ、此ノ委員會ヲ實ハ考ヘテ居
ル際デゴザイマス、其ノ點ハ多少ノ從
衆ノ供出委員會ト違フと思ヒマスガ、
其ノ以外ノ點ハ大體供出委員會デ巧ク
行ツテ居ル所ハ大體私共ガ今考ヘテ居
リマスヤウナ構成デ行ツテ居ル所ガ多
ク存存ジマスノデ、サウ云フ所ハサシ
テ大キナ變化ハナインノデハナイカ、斯
様ニ考ヘテ居リマス

○子爵土屋直君 次ニ第九條ノ關係
ニ付テチヨツト伺ヒタイノデゴザイ
マスガ、魚介類ノ統制ト云フコトハ
ナカク言フベシテムツカシイコトデ
ゴザイマシテ、ソレハ船ガ運送機關デ
アリマスノデ、海上ニ於ケル關取引ダ
トカ、或ハ魚介類ハ非常ニ腐敗シ易イ
モノデアルト云フヤウナ點、二ツノ點
等カハ非常ニムツカシイヤウニ思フノ
デゴザイマシテ、是ハ寧ロ必要ガナケ
レバ、自由取引ノ方ガ宜イカト思フノ
デゴザイマシケレドモ、政府ノ御所見
ヲ伺ヒタイと思ヒマス、ソレカラ漁
村ニ於ケル加配米ノ問題ヲ伺ヒタイ
思ヒマスガ、從來國民一般ノ配給受給
者ト同様ノ配給ヲ受ケテ居リマシテ、
其ノ他ニ、昔ハ加配米ト云フノガゴザ
イマス、今同食糧事情ガ大體ニ於テ豐
作ニ依リマシテ配給モ殖エルト云フヤ
ウナ狀態ニナツテ參リマシタシ、此處
デ元ノヤウナ加配米一日五合トカ六合
トカ云フヤウナモノヲ復舊シテ戴ク譯
ニ行キマセヌカ、現在ノ處漁獲物ト
「リンク」サシテ加配米ヲ出シテオイデ
ニナルヤウナ現狀デゴザイマシテ、
漁獲ノナイ場合ニ於テハ、寧ロヨリ以
上ニ備イテ居ルニ拘ラズ、加配米ヲ頂

戴致セナイト云フ現狀デゴザイマス)
從ツテ今年ニ豐作デ一般ニ加配サレ
ルヤウナ場合ニハ元ノ加配米制度ヲ復
シテ戴ク譯ニハ行キマセヌカ、此ノ點
ヲ伺ヒタイ存存ジマス

○政府委員(補見義男君) 魚介類ノ統
制ノ問題デゴザイマスガ、仰セノヤウ
ニ非常ニ是ハ統制ヲ致シマスル上ニ於
テモムツカシイ問題、對象デアリマス
ルガ、現在ノ處統制ヲ撤廢スルト云フ
意思ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、
唯此ノ對象ガ對象デアリマスルノデ、
實ハ昨日モ議案ニ付テ申上ゲマシタ通
リ、生鮮食品ノ統制ニ付テハ、單
純ニ統制ノ爲メノ統制ニ墮スルコトノ
ナイヤウニ、出來ルベク其ノ對象ガ
生キ物デアリ、又腐敗シ易イモノデ
アルト云フコトヲ能ク頭ニ入レマシ
テ、此ノ統制ノヤリ方ニ付テハ工夫改
善ヲ加ヘテ參リタイ、斯ウ云フ風ニ考
ヘテ居リマスノデ、此ノ點ハ從來ヤ
テ居リマシタ單純ナ形式ノ統制ニ墮
サナイヤウニ現在デモ色々工夫ヲ致シ
テ居リ、一部サウ云フ線ニ沿ツテ實施
ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、
ソレカラ加配米ノ問題デアリマスガ、
此ノ問題モ實ハ「リンク」用ニ米ヲ出シ
マスルコト事態ニ於テモ農家ノ面カラ
分達ガ血ノ出ルヤウナ米ヲ獲ツテ、賣
ツテサウシテ漁家ニソレヲ配給シ、漁
師ハ其ノ魚ヲ關ニ流シテ居ル、怪シカ
ラ強デヤナイカト云フヤウナ一部ノ相
當強イ農家カラノ非難モアツタヤウナ
コトデアリマシテ、此ノ加配米ノ使ヒ
方ニ付テハ特ニ氣ヲ付ケテ參ラナケレ
バ、必ズサウ言ツタ一方ノ非難ガ起ツ
テ參リマスノデ、「リンク」制ニ付テハ
特ニ氣ヲ付ケテ居ルノデアリマスガ、

從ツテ一般ニ其ノ増配ガ可能ナ場合ニ
ハ勿論普通ノ勞務者ニ對スル配給モ出
來ルト云フヤウナ場合ニハ、勿論漁師
ニ對シマシテモ加配スルコトハ當然デ
アリマスガ、重點ノ此ノ加配ヲ續ケ
マスル間ハ矢張り從來ノヤウナ行キ方
デアリマス、ソコデ新年度カラ先日來
申シテ居リマス三百五十萬石ノ配分
ヲドウ云フ方面ニスルカ、勿論漁業モ
重要ナコトデアアルコトハ申上セモノ
コトデアリマスガ、此ノ三百五十萬
石ト云フ數量ト說ニ合セマシテ漁師ニ
對スル加配、ドレダケ加配ガ可能デア
ルトカ云フヤウナコトモ能ク検討致シ
タイと思ヒマス

○子爵土屋直君 次ニ第九條ノ關係
ニ付テチヨツト伺ヒタイノデゴザイ
マスガ、魚介類ノ統制ト云フコトハ
ナカク言フベシテムツカシイコトデ
ゴザイマシテ、ソレハ船ガ運送機關デ
アリマスノデ、海上ニ於ケル關取引ダ
トカ、或ハ魚介類ハ非常ニ腐敗シ易イ
モノデアルト云フヤウナ點、二ツノ點
等カハ非常ニムツカシイヤウニ思フノ
デゴザイマシテ、是ハ寧ロ必要ガナケ
レバ、自由取引ノ方ガ宜イカト思フノ
デゴザイマシケレドモ、政府ノ御所見
ヲ伺ヒタイと思ヒマス、ソレカラ漁
村ニ於ケル加配米ノ問題ヲ伺ヒタイ
思ヒマスガ、從來國民一般ノ配給受給
者ト同様ノ配給ヲ受ケテ居リマシテ、
其ノ他ニ、昔ハ加配米ト云フノガゴザ
イマス、今同食糧事情ガ大體ニ於テ豐
作ニ依リマシテ配給モ殖エルト云フヤ
ウナ狀態ニナツテ參リマシタシ、此處
デ元ノヤウナ加配米一日五合トカ六合
トカ云フヤウナモノヲ復舊シテ戴ク譯
ニ行キマセヌカ、現在ノ處漁獲物ト
「リンク」サシテ加配米ヲ出シテオイデ
ニナルヤウナ現狀デゴザイマシテ、
漁獲ノナイ場合ニ於テハ、寧ロヨリ以
上ニ備イテ居ルニ拘ラズ、加配米ヲ頂

從ツテ一般ニ其ノ増配ガ可能ナ場合ニ
ハ勿論普通ノ勞務者ニ對スル配給モ出
來ルト云フヤウナ場合ニハ、勿論漁師
ニ對シマシテモ加配スルコトハ當然デ
アリマスガ、重點ノ此ノ加配ヲ續ケ
マスル間ハ矢張り從來ノヤウナ行キ方
デアリマス、ソコデ新年度カラ先日來
申シテ居リマス三百五十萬石ノ配分
ヲドウ云フ方面ニスルカ、勿論漁業モ
重要ナコトデアアルコトハ申上セモノ
コトデアリマスガ、此ノ三百五十萬
石ト云フ數量ト說ニ合セマシテ漁師ニ
對スル加配、ドレダケ加配ガ可能デア
ルトカ云フヤウナコトモ能ク検討致シ
タイと思ヒマス

○子爵土屋直君 次ニ第九條ノ關係
ニ付テチヨツト伺ヒタイノデゴザイ
マスガ、魚介類ノ統制ト云フコトハ
ナカク言フベシテムツカシイコトデ
ゴザイマシテ、ソレハ船ガ運送機關デ
アリマスノデ、海上ニ於ケル關取引ダ
トカ、或ハ魚介類ハ非常ニ腐敗シ易イ
モノデアルト云フヤウナ點、二ツノ點
等カハ非常ニムツカシイヤウニ思フノ
デゴザイマシテ、是ハ寧ロ必要ガナケ
レバ、自由取引ノ方ガ宜イカト思フノ
デゴザイマシケレドモ、政府ノ御所見
ヲ伺ヒタイと思ヒマス、ソレカラ漁
村ニ於ケル加配米ノ問題ヲ伺ヒタイ
思ヒマスガ、從來國民一般ノ配給受給
者ト同様ノ配給ヲ受ケテ居リマシテ、
其ノ他ニ、昔ハ加配米ト云フノガゴザ
イマス、今同食糧事情ガ大體ニ於テ豐
作ニ依リマシテ配給モ殖エルト云フヤ
ウナ狀態ニナツテ參リマシタシ、此處
デ元ノヤウナ加配米一日五合トカ六合
トカ云フヤウナモノヲ復舊シテ戴ク譯
ニ行キマセヌカ、現在ノ處漁獲物ト
「リンク」サシテ加配米ヲ出シテオイデ
ニナルヤウナ現狀デゴザイマシテ、
漁獲ノナイ場合ニ於テハ、寧ロヨリ以
上ニ備イテ居ルニ拘ラズ、加配米ヲ頂

從ツテ一般ニ其ノ増配ガ可能ナ場合ニ
ハ勿論普通ノ勞務者ニ對スル配給モ出
來ルト云フヤウナ場合ニハ、勿論漁師
ニ對シマシテモ加配スルコトハ當然デ
アリマスガ、重點ノ此ノ加配ヲ續ケ
マスル間ハ矢張り從來ノヤウナ行キ方
デアリマス、ソコデ新年度カラ先日來
申シテ居リマス三百五十萬石ノ配分
ヲドウ云フ方面ニスルカ、勿論漁業モ
重要ナコトデアアルコトハ申上セモノ
コトデアリマスガ、此ノ三百五十萬
石ト云フ數量ト說ニ合セマシテ漁師ニ
對スル加配、ドレダケ加配ガ可能デア
ルトカ云フヤウナコトモ能ク検討致シ
タイと思ヒマス

○子爵土屋直君 次ニ第九條ノ關係
ニ付テチヨツト伺ヒタイノデゴザイ
マスガ、魚介類ノ統制ト云フコトハ
ナカク言フベシテムツカシイコトデ
ゴザイマシテ、ソレハ船ガ運送機關デ
アリマスノデ、海上ニ於ケル關取引ダ
トカ、或ハ魚介類ハ非常ニ腐敗シ易イ
モノデアルト云フヤウナ點、二ツノ點
等カハ非常ニムツカシイヤウニ思フノ
デゴザイマシテ、是ハ寧ロ必要ガナケ
レバ、自由取引ノ方ガ宜イカト思フノ
デゴザイマシケレドモ、政府ノ御所見
ヲ伺ヒタイと思ヒマス、ソレカラ漁
村ニ於ケル加配米ノ問題ヲ伺ヒタイ
思ヒマスガ、從來國民一般ノ配給受給
者ト同様ノ配給ヲ受ケテ居リマシテ、
其ノ他ニ、昔ハ加配米ト云フノガゴザ
イマス、今同食糧事情ガ大體ニ於テ豐
作ニ依リマシテ配給モ殖エルト云フヤ
ウナ狀態ニナツテ參リマシタシ、此處
デ元ノヤウナ加配米一日五合トカ六合
トカ云フヤウナモノヲ復舊シテ戴ク譯
ニ行キマセヌカ、現在ノ處漁獲物ト
「リンク」サシテ加配米ヲ出シテオイデ
ニナルヤウナ現狀デゴザイマシテ、
漁獲ノナイ場合ニ於テハ、寧ロヨリ以
上ニ備イテ居ルニ拘ラズ、加配米ヲ頂

從ツテ一般ニ其ノ増配ガ可能ナ場合ニ
ハ勿論普通ノ勞務者ニ對スル配給モ出
來ルト云フヤウナ場合ニハ、勿論漁師
ニ對シマシテモ加配スルコトハ當然デ
アリマスガ、重點ノ此ノ加配ヲ續ケ
マスル間ハ矢張り從來ノヤウナ行キ方
デアリマス、ソコデ新年度カラ先日來
申シテ居リマス三百五十萬石ノ配分
ヲドウ云フ方面ニスルカ、勿論漁業モ
重要ナコトデアアルコトハ申上セモノ
コトデアリマスガ、此ノ三百五十萬
石ト云フ數量ト說ニ合セマシテ漁師ニ
對スル加配、ドレダケ加配ガ可能デア
ルトカ云フヤウナコトモ能ク検討致シ
タイと思ヒマス

○子爵土屋直君 次ニ第九條ノ關係
ニ付テチヨツト伺ヒタイノデゴザイ
マスガ、魚介類ノ統制ト云フコトハ
ナカク言フベシテムツカシイコトデ
ゴザイマシテ、ソレハ船ガ運送機關デ
アリマスノデ、海上ニ於ケル關取引ダ
トカ、或ハ魚介類ハ非常ニ腐敗シ易イ
モノデアルト云フヤウナ點、二ツノ點
等カハ非常ニムツカシイヤウニ思フノ
デゴザイマシテ、是ハ寧ロ必要ガナケ
レバ、自由取引ノ方ガ宜イカト思フノ
デゴザイマシケレドモ、政府ノ御所見
ヲ伺ヒタイと思ヒマス、ソレカラ漁
村ニ於ケル加配米ノ問題ヲ伺ヒタイ
思ヒマスガ、從來國民一般ノ配給受給
者ト同様ノ配給ヲ受ケテ居リマシテ、
其ノ他ニ、昔ハ加配米ト云フノガゴザ
イマス、今同食糧事情ガ大體ニ於テ豐
作ニ依リマシテ配給モ殖エルト云フヤ
ウナ狀態ニナツテ參リマシタシ、此處
デ元ノヤウナ加配米一日五合トカ六合
トカ云フヤウナモノヲ復舊シテ戴ク譯
ニ行キマセヌカ、現在ノ處漁獲物ト
「リンク」サシテ加配米ヲ出シテオイデ
ニナルヤウナ現狀デゴザイマシテ、
漁獲ノナイ場合ニ於テハ、寧ロヨリ以
上ニ備イテ居ルニ拘ラズ、加配米ヲ頂

ガ出來ナイ、ドウシテモ三十萬俵程送
ラナケレバナラス、ソレニハ桑園ガ必要
ダ、桑園ハ御承知ノ通り戰爭中ハ一本
幾ラデ拔カシテシマツタ、今日ハ十八
萬町歩シカ作ツテ居ナイ、サウシテ十
二萬町歩ノ桑園ヲ今日造ラナケレバナ
ラス、向フ三箇年デ桑園ヲソレダケ殖
サウ、サウシマセ云フト、一方食糧
ヲ作ル其ノ土地、食糧ガ足ラナイデ居
テ、「アメリカ」ノ食糧ヲ入レテ行ク其
ノ見返リ品トシテ、食糧ヲ作ツテ居ル
所ヲ其ノ食糧ヲ作ルノ止メテ桑畑ニ
スル、何ダカグルノ廻リヲスルヤウ
ナ感ジガ致スノデアリマス、結局サウ
ナルト云フト、農家ノ懐ロニ都合ノ好
イモノ、言ヒ換ヘレバ利潤ノ多いモノ
ニ其ノ土地ヲ利用スルコトニナリハセ
ヌカト思フ、サウナレバ米ヲ作ルノガ
宜イカ、桑ヲ作ルノガ宜イカ、是ハ細
カイ計算ハゴザイマセヌカレドモ、言
フ迄モナク桑園ノ方ガ春蠶夏蠶秋蠶、
少クトモ春秋相當ノ收穫ガアル、收穫
スルノハ極ク短時間デ、一月カソコイ
ラデ、其ノ中デ忙シイノハ二十日程デ
アル、米ノ方ハナカク、サウ云フ譯ニ
ハ行カヌ、而モ蠶桑、生絲ノ方ハ二千
掛、繭モ二千掛ト云フ相場ニ決ツタト
スレバ相當ナモノデアリマス、ドウモ
ルカラ、米ヲ作ラヌデサウ云フ方ニ
ミ走ルノデハナカク、サウナルト云フ
ト、先日モ御話ノ出タ所ノ今度ノ國土
計畫向ウ五箇年間ニ百五十萬町歩ノ耕
地ヲ作ルト云フ、サウ云フ足許カラ直
グ十二萬町歩ノ土地ヲ桑畑ニ代ヘナケ
レバナラス、十二萬町歩以上桑畑ニナ
ル、ト云フコトハ食糧ノ増産ノ計畫ニ
モ多少齟齬ヲ來スノデアアルマイカ、
一體政府ハ桑ト米トノ生産ニ付テドウ

○中村藤兵衛君 只今問題トハチヨツ
ト關係ノ薄イヤウナモノデゴザイマス
ガ、チヨツト承ツテ置キタイノデアリ
マス、ソレハ舊日前政府ノ方デ發表ニ
ナリマシタ蠶桑政策、アレニ依リマ
スト「アメリカ」カラ食糧ヲ輸入スル、
ソレニ付テハ色々コチラデ何カ送ラナ
ケレバナラスガ、ソレニハ生絲、生
絲ハ輸出品ノ大宗ダト云フ、處ガ生
絲ハ今日十八萬俵程シカ生産スルコト

○中村藤兵衛君 只今問題トハチヨツ
ト關係ノ薄イヤウナモノデゴザイマス
ガ、チヨツト承ツテ置キタイノデアリ
マス、ソレハ舊日前政府ノ方デ發表ニ
ナリマシタ蠶桑政策、アレニ依リマ
スト「アメリカ」カラ食糧ヲ輸入スル、
ソレニ付テハ色々コチラデ何カ送ラナ
ケレバナラスガ、ソレニハ生絲、生
絲ハ輸出品ノ大宗ダト云フ、處ガ生
絲ハ今日十八萬俵程シカ生産スルコト

○中村藤兵衛君 只今問題トハチヨツ
ト關係ノ薄イヤウナモノデゴザイマス
ガ、チヨツト承ツテ置キタイノデアリ
マス、ソレハ舊日前政府ノ方デ發表ニ
ナリマシタ蠶桑政策、アレニ依リマ
スト「アメリカ」カラ食糧ヲ輸入スル、
ソレニ付テハ色々コチラデ何カ送ラナ
ケレバナラスガ、ソレニハ生絲、生
絲ハ輸出品ノ大宗ダト云フ、處ガ生
絲ハ今日十八萬俵程シカ生産スルコト

○中村藤兵衛君 只今問題トハチヨツ
ト關係ノ薄イヤウナモノデゴザイマス
ガ、チヨツト承ツテ置キタイノデアリ
マス、ソレハ舊日前政府ノ方デ發表ニ
ナリマシタ蠶桑政策、アレニ依リマ
スト「アメリカ」カラ食糧ヲ輸入スル、
ソレニ付テハ色々コチラデ何カ送ラナ
ケレバナラスガ、ソレニハ生絲、生
絲ハ輸出品ノ大宗ダト云フ、處ガ生
絲ハ今日十八萬俵程シカ生産スルコト

○中村藤兵衛君 只今問題トハチヨツ
ト關係ノ薄イヤウナモノデゴザイマス
ガ、チヨツト承ツテ置キタイノデアリ
マス、ソレハ舊日前政府ノ方デ發表ニ
ナリマシタ蠶桑政策、アレニ依リマ
スト「アメリカ」カラ食糧ヲ輸入スル、
ソレニ付テハ色々コチラデ何カ送ラナ
ケレバナラスガ、ソレニハ生絲、生
絲ハ輸出品ノ大宗ダト云フ、處ガ生
絲ハ今日十八萬俵程シカ生産スルコト

云フ御考ヲ持ツテ居ルカ、先刻青澤委員カラモ小作料ガ金圓ヲ納メルコトニナレバ、米ヲ作ラヌデ割合ノ宜イモノヲ作ツテ金ニ換ヘテソレヲ納メ、言ヒ換ヘレバ米ノ増産ニナラヌデヤナイカト云フ御考モアツタノデスケレドモ、此ノ點ハ私ハ同感ノヤウナ感じガ致スノデアリマス、是ハ此ノ委員會ニハ蘇故ガ薄イヤウニ思ハレルノデスケレドモ、矢張り食糧關係デアリマスカラ、若シ御考ガアリマシタナラバ、其ノ邊ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(楠見義男) 蠶絲ノ問題デアリマスガ、合體ノ觀點デケ行キマスト色々言ヒ分ガアルヤウナ譯デアリマシテ、勿論私共ハ今後ノ在リ方ト云フコトヲ考ヘテ見マス、必シモ目前ノコトノミハ言ヒ得ナイノデ、色々蠶絲ニ付キマシテモ例ヘバ桑畑ヲ潰シテ、サウシテ麥トカ芋トカ、其ノ間ニ蔬菜ヲ入レタリシマシテヤツタ方ガ食糧ノ基トシテハ宜イデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ見方ヲスル方モアリマスルシ、又一面生絲デ例ヘバ一町歩カラ一俵ノ生絲ガ取レルト、其ノ一俵ノ生絲デ「アメリカ」デ現在ノ小麥ノ相場ト絲ノ相場カラ見ルト、五十石位ニ換算ニナルカラ、生絲ヲ出シテヤツタ方ガ十倍以上ノ生産ガ上ルノデカラ宜イデヤナイカト云フ風ニ、色々申論乙論ガアル譯ナノデスガ、サウ云フ意見ハ意見ト致シマシテ、結局今後ノ日本ノ農業、特に世界經濟ニ參加致シマシタ時ノコトヲ考ヘ、又將來ノ日本ノ再建ノ爲ノ必要ナ資材輸入問題、現在ハ食糧ガ第一デアリマスケレドモ、是カラ機械類トカ色々ナモノガ輸入シテ參ラナケレバナラヌト云フ際ニ、ドウシテモ

實物品トシテ考ヘラレル場合ニハ生絲ニ類ラザルヲ得ナイ、斯ウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、蠶絲ハドウシテモ維持シテ行キタイ、是モツイ此ノ七、八年前頃迄ハ御承知ノヤウニ桑園ノ面積ハ一部荒廢桑園モ含メテデゴザイマスガ、六十五、六萬町歩カラ七十萬町歩アツタノデアリマス、ソレガ現在モ先程御話ニナリマシタヤウニ、十八萬町歩、恐ラク十七萬町歩位ニナツテ居ヤシナイカト思フノデス、斯ウ云フヤウニ四分ノ一程度ニ約五十萬町歩以上ノモノガ減ツテ居ル、從ツテ將來ノコトヲ考ヘマスルト、ドウシテモ是ハ現在ノ十七、八萬町歩ト云フモノカラ、更ニモ十萬町歩位ノモノハ殖ヤシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ此處デ一番問題ニナリマスルコトハ、桑園ノ復舊ニハ桑苗カラ始メナケレバナラナイノデ、結局色々蠶絲ノ復舊計畫ヲ出來ルデ短ク、或ハ三年後ニハ三十萬俵ガ輸出出來ルヤウナ計畫ニ作ラウト云フヤウナ意見モアルノデアリマスガ、結局此ノ桑苗ノ生産力ニ制約セラレマシテ、此ノ面積モ計畫通りニ行キマシテモ、本年ハ一萬町歩位シカ殖ニコトハ出來ナイ、ソコデ其ノ一萬町歩ハ戰爭中ニ於テ他ノ雜穀類、麥畑等ニ變リマシタ、桑畑カラ大豆畑トカ、サウ云フモノニ變ツタ所ガアツタノデアリマスガ、サウ云フモノノ中カラ一萬町歩デケラ元ヘ戻シテ賣ツテ、本年ハ一ツヤツテ行カウ、段々尻肥リノ恰好ニナツテ參リマスノデ、一般ノ情勢ノ變化ト丁度「ピッチ」ガ合ツタヤウナ風ニ恢復シテ行クノデハナイカ、是ハ今後好ムト好マザルトニ拘ラズ、桑苗ニ制約サレテ居リマス爲ニ、サウ云フコトニナル譯

デアリマスガ、結論ト致シマシテハ色色觀方ハアリマスルケレドモ、全體ノ立場カラ養蠶ト云フモノハ維持シテ行キタイ、最モ限度是ハ確保シテ行キタイ、斯ウ云フコトデ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス、

○松本學君 只今諸ノ自由販賣ノ御話ガ出マシタガ、此ノ主要食糧ノ供出ノ後ノ自由販賣ノコトニ付テノ御答辯ガ矢張り「デリケート」ナ關係ガアルカラト云フ御話デアアルノデアリマスガ、私モソレ以上申上ゲタ處デ、殆ド無意味デアリマスカラ、申上ゲナイノデアリマスケレドモ、諸ノ自由販賣位ハ、是ハ「デリケート」ナ關係ガアリマセウカ、米麥ノヤウナモノナラバ、是ハ保存ノ點カラ云ヒマシテモ、或ハ隱匿スルト云フヤウナコトガアツテモ、是ハサウ直グニ腐ルトカ、何トカ云ツテ是ガ無敵ニナルト云フヤウナコトハナイノデスガ、諸ハ餘程強ヒウマクシナメト云フト非難ニ統制ヲ強化シテモ、其ノ他ノ運搬トカ何トカノ制約モアリマセウカ、何年モ諸ノ腐ラシテ無敵ニシタト云フヤウナコトモアリマスシ、之ヲ自由ニシテドン／＼一部ノ食糧トシテ是ガ利用サレルト云フコトニナリマスナラバ、サウ云フ點モ大ニ助カ

ルノデハナカラウカト思フノデスガ、一時諸ノ自由販賣ノコトニ付テ政府デモ色々御研究ニナツタト云フコトモ是ハ開イテ居リマスガ、其ノ當時ハ何トシテモ米麥ノ方ノ生産量ガ十分デナイカラ、諸ニ食糧トシテ多量ニ依ルノデアルカラ、之ヲ自由ニスルコトハ、食糧全體ニ付テノ危險ガ伴フト云フコトガ理由デ、其ノ當時ハ此ノ自由販賣ガ認めラレズ、計畫サレナカツタト云フ

ヤウナコトモ洩レ開イテ居リマスガ、本年ノヤウナ兎ニ角諸ニ付テモ近來ナイン豐年デアアル、産額モ非常ニ大キイト云フ斯ウ云フ年ニ於テ、先ヅ此ノ諸カラ外シテオヤリニナル、ソレニ付テ何カ色々ナ問題ガアレバ十分サウ云フ點ニ付テハ御努力ヲ願ツテ、色々御苦心モアリマセウケレドモ、其ノ方面ヘ了解ヲ十分得ラレテ、先ヅ是ダケデモ自由販賣ヲサセルト云フ風ナ點ニ御盡力ガ願ヘナイモノカ、チヨツトソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○菅澤雄雄君 ソレニ關聯シテ丁度松本委員ノ意見ト同ジヤウデアルケレドモ、少シ補足シテ具體的ニ伺ヒタイノデアリマスガ、先程カラ政府ノ意見ヲ聽ク、統制ヲ取ル譯ニ行カヌト云フコトダケハドウモ政府ノ御考ニ從ツテ了承スル外アリマセウカ、實際問題トシテ昨年ハ斯ウ云フ例ガアツタヤウニ私ハ伺ツテ居リマス、消費組合ト云フヤウナモノガアツテ、サウシテ縣ノ知事トカ或ハ縣ノ議會ト云フヤウナモノノ了解ヲ得レバ、何百貫デモ「トラツク」デ運シテヤツタト云フヤウナ實際ノ例ガアルノデスガ、ソコデ消費組合ト云フモノト生産組合ト云フモノトノ直接ノ取引ノ方ガ我々ハ實際問題トシテハ望マシイノデス、中間ニ居ル人ガ色々ナコトヲヤルカラ、ソレガ隘路トナツテ腐ツタリ何カスルノデスカラ、サウデナク、實際問題トシテ、之ヲ取扱フ便宜ナ方法ヲ設ケタラドウデスカ、ソレハ農林大臣モ諸ノコトニ付テハ何等カ善處スルト云フヤウナ御意見、成ルベク腐ラカサナイヤウニ善處スルト云フヤウナコトノ御意見ガアツタノデスガ、私ハ昨年王子ノ區長ニ頼マレマシテ、一萬俵買付ケテ賣ヒタイ

ト云フコトデ、郷里ノ方ニ打電シマシテ、サウシテ一萬俵ノ約束ヲ致シマシタ、ソレハ東京都ノ了解ヲ得ルトカ、或ハ紹介ヲスルトカ、農林省ノ許可ヲ得ルトカト云フヤウニ區長ハ言ハレタガ、矢張り縣ノ議會トカ何カノ了解ヲ得レバソレガ出來タ、デスカラ消費組合ト云フモノガ生産組合カラ直チニ買ツテ來テ消費組合デ販賣スルナラバ、是ハ關デナイ、關ト見タ所ガ、公定價格デオイト見タ所ガ、惡質ノ關デハナイシ、ソレハ營利ヲ目的トスルノデハナクシテ、消費組合員ガ何人アツテ、家族ガ何人アツテ、ソレニ一人ニ付テ一貫目宛分ケルナラ分ケルト云フヤウニ、ハツキリ官廳ノ指令ノ下ニ行ハバ生産者カラ消費組合ニ販賣シ賣買スルト云フコトガ最モ合理的ダト私ハ考ヘル、サウ云フヤウナ便宜ナ方法ヲ設ケ消費組合ナラバ區長トカ或ハ農林省トカ、或ハ縣廳トカノ證明ガアレバ宜イ、斯ウ云フヤウナ便宜ナ方法ヲ一ツ設ケテ賣ヒタイ、是ハ實際問題トシテ必要ダト考ヘマス、去年ハ餘程ソレガ行ハレテ居リマス、ソレカラ會社ノヤウナモノモ繼メテ「トラツク」デ隨分賣ツテ來テ分配シテ居リマス、サウ云フヤウナモノハ之ヲ一定ノ規則ノ下ニ、統制ヲ直チニ解カナイデモ、サウ云フ合理的ナ方法デ、餘リ關デナク、營利的ニ之ヲヤルノデナク、惡質ノ關デナク、公平ニ分配スルト云フヤウナ方法ヲ取ツテ賣ヒタイ、其ノ方法ヲ承ツテ、今年カラ實行シテ賣ヒタイ、サウ云フ政府デ便宜ガ採ラレナイデアリマセウカ、斯ウ云フ譯デアリマス

○政府委員(楠見義男) 諸ノ統制撤廢ノ問題ニ付キマシテハ、先程御答ヘ申上ゲマシタ通りデアリマス、唯色々

此ノ取扱方ニ付テハ、是カラ今年ノ生産事情ニモ照應致シマシテ、工夫改善ヲ加ヘテ参リタイト考ヘテ居リマス、唯茲デ私共常ニ遺憾ニ思ヒマスコトハ、實ハ本年ノ馬鈴薯ニ付テモ一部サウ云フコトガアツタノデアリマスガ、甘藷ニ付キマシテモ同様ノコトガ實ハアルノデアリマス、ト申シマスコトハ、割當ヲ受ケル際ニハ、生産量ガ非常ニ少ナイヤウナコトヲ農家ガ言ヒ、又地方廳モ言フノデアリマスガ、ソシテハ、甚ダ變ノナイコトデアリマスガ、夜中ノ二時、三時、四時頃迄掛ツテ割當ノ會議ヲヤツテ押問答ヲヤルノデアリマスガ、歸ツタ後デ、割當ヲ受ケタ後デ農家カラ今年ノ馬鈴薯ノ割當ハ甘藷ニテ、而モ馬鈴薯ハ腐ル、斯ウ云フヤウナ聲ノ聞ケルコトデアリマス、此ノ點私ハサウ云フ此ノ氣持ガ直ラナケレバ日本ノ食糧問題ハ永遠ニ解決シナイノデヤナイカト云フ位ニ實ハ遺憾ニ思フノデアリマス、我々トシテハ百パーセント以上ノ供出、固ヨリ是非サウ云フ餘裕ガアレバ出シテ貰ヒタイノデアリマスシ、又其ノ點ヲ特ニ御願シテ居ルノデアリマスガ、百「パーセント」以上ハ出ス氣ハ毛頭ナイ、ソコデ自由販賣ヲ狙ツテ居ル一ツノ理由トシテハ、公定價格以上ニウツト高イ値段デ販賣ヲシタイ、斯ウ云フ點ニ相當狙ヒガアルノデアリマシテ、爾ニ付キマシテモ、私共モ先程來各委員ノ方カラ御話ガゴザイマシタヤウニ、本年ハ舊ハ非常ニ豐作ダト思ヒマス、ニモ拘ラズ地方廳カラノ報告カラ行キマス、十億萬貫ソコノシカ出來ナイト云フヤウナコトヲ言ツテ參ルノデアリマス、從ツテ此ノ自由販賣ヲ狙フ農家ノ中ニハサウ云フヤウナ不純

ナ考ヘ方ガアルノヲ遺憾ニ思フノデアリマス、尤モ舊澤サンノ仰セニナリマスコトハ、之ニ依リテ生産、供出ヲ圓滑ニヤラセヨウト云フ所ノ狙ヒデアリマシテ、勿論サウ云フ風ニ付テノ御考デアルコトハ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、自由販賣ニハ斯ウ云フ點ニ付テ色々考ヘサセラレルコトガ多イノデアリマス、併シ結論トシマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、色々今年ハ私共ハ十五、六億以上二十億ニ近イモノガアルノデハナイカト云フ風ニ思ヒマス、從ツテ此ノ諸ノ處理ニ付テハ、相當各方面ニ互ツテ檢討ヲ加ヘテ、準備十分致シテ置カナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ舊澤サンノ御尋ノ生産者及ビ消費者ノ直結ノ問題デアリマスガ、中ニハ非常ニウマク行ク所モアルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テモ、實ハ私共今一番警戒ヲ致シテ居リマスルコトハ、色々政黨のニ或ハ組合運動のニ結ビ付イテ、此ノ生産者ト消費者トノ直結問題ガ起ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ一ツノ同シ系統ノ農民組合ト都市ノ消費組合ガ結ビ付ク、是ハ獨リ諸ニ限リマセヌデ、米ニ付テモサウ云フヤウナコトヲ主張シテ居ルモノガアルノデアリマス、私共ハ其ノ點ニ付テハ好キナ者同僚ガ喰ツツイテヤルト云フコトニナレバ、物ノ全體ノ管理統制ト云フモノガスツカリ崩レテシマツテ、サウ云フ緊リニ乘リ遅レタ、又埒外ニアル人々ガ非常ニ困ルノデアリマス、例ヘバ只今仰セニナリマシタヤウニ、舊澤サンナラ舊澤サンガ東京ノ家ヲ御持チニナツテ居ツテ、又田舎ニ居ラレテ、相當サウ云フ方面ニ自由ガ利カレト、サウスルト舊澤サンノ所ハ宜イノデス

ガ、其ノ隣リノ所ハソレガ出來ナイト云フコトニナルト、是非常ニ困ツタコトニナリマスノデ、サウ云フ場合ニハ、先程モチヨツト御話ガゴザイマシタヤウニ、表ニ載セテサウシテ正當ノ「ルート」ニ乗ツタテ之ヲ動カス、全體ノ計畫ト視合シテ正當「ルート」ニ乗セテ之ヲ動カスコトニ致シマセスト、ドウシテモ斯ウ云フ方面カラ主要食糧ノ管理ヲ崩レテ行ク處ガアルト云フコトヲ實ハ心配シテ居ルノデアリマシテ、全般的ニ此ノ直結ノ問題ヲ取上ゲルコトニ付キマシテハ、尙檢討ヲ要スル問題デハナカラウカト、斯ウ實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ點ハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松本學君 私が諸ノ自由販賣ノコトヲ申シマシタノモ、今御答ノ中ニアリマシタヤウニ、農家ノ中ニハ、諸ニ限リマセヌガ、食糧、米、麥ニ付テモ、今ノヤウナ不純ナ考ヘ方デ自由販賣ヲ希望シテ居ル者モアルカモ知レマセヌ、自由販賣ニナレバ高ク賣レル、サウシテ価値デ以テドノノ賣レルノデ、ダカラ自由販賣ニシテ貰ヒタイト云フ希望ガアルカモ知レマセヌガ、併シソレハ實ヲ言フト、今デモ實情ハ殆ドサウデヤナイカ、統制ヲシテ居ルト政府ハ仰ツシヤツテ居リマスケレドモ、舊テ統制經濟デ我々ハ生活シテ居ルノカト云フト、實際我々ハ統制經濟デ生活シテ居ナイ、政府デハ統制シテ居ルト仰ツシヤル、數量ヲチヤント供出サセテ、之ヲ配給シテ居ルト云ヒナガラ、缺點ハ幾日續ギマシタカ、是ハ統制經濟デヤナイ、價格ニ付テモ統制シテ居ルト仰ツシヤルガ、統制サレテ居ナイ、我々ノ今日ノ生活ト云フモノハ自由經濟デス、事實ニ於テ、是ハ何人

モ否ムコトガ出來ナイ、私共ガ政府ノ仰ツシヤル通りノ統制經濟ノ生活ヲシテ居ルトスレバ、一日モ生キテ居レナイ、二十日モ三十日モ缺額ヲサレテ居ルデ、統制經濟デケデ生キテ行クトスレバ死ナケレバナラヌ、然ルニ誰一人トシテ餓死シテ居ル人ハナイ、サウスルト一體我々ハ何ト云フノカ、一種ノ「イデオロギー」ノヤウナモノデ締メ付ケラレテ居ツテ、實際ハ全ク違ツタ道ヲ歩イテ居ル、自由經濟ノ實際自由經濟ノ生活ヲシテ居ル、而モ其ノ自由經濟ノ生活ト云フモノハ、偶々政府ガ統制經濟ト云フコトヲ御立テニナツテ居ル爲ニ聞ト云フ實ニ嫌ナ氣持デ我々ハ生活ヲシテ居ル、サウシテ今聞ノ爲ニ聞ラスルト云フコトニナツテ、配給ト云フモノガナイカラ買出シト云フモノガ出テ、或ハ縁故トカ、知己ヲ頼ツテ行ツテ、一升カ二升ト云フモノヲ買出シテ來ル、買出シニ行キマスカラ、コチラニ聞ト云フ弱ミト、今ニモ食ヘナイト云フ弱ミガアルカラ、農家ノ方カラ言ヘバドノノ釣リ上ゲルト云フコトニナル、御隣デ一升六十圓ダツタ、其ノ隣ハ七十圓、買ヒタイ餘リニ其ノ隣ハ八十圓デ買ヒマセウト云フノガ今日ノ實情ニナツタト思フ、併シ若シ自由ニナツタナラバ、初メハ今ノ良イ味ヲシメテ居ルノデ、今ノヤウナ不純ナル考ヲ持ツカモ知レヌガ、一人々々ガ行ツテ、ソレヲ聞デ括ツテ置イデ、高イ物ヲ買ツテ食フト云フコトデナク、公然ニ聞デヤナイ、自由販賣ナラバ、我々ハ聞ラシテ居ルノデヤアリマセヌ、當然自由經濟ノ取引關係デ、需要供給ノ關係デ、ドノノ食糧ガ多クナツテ來レバ、物が安クナル、初メハ不純ナ考ヲ以テ自由販賣ニ賛成ヲシタ人

ガ、暫ク經ツト云フト、恐ラク段々値段ガ下ツテ來ルノデ、コシナコトデヤナカツタト云フコトニナルノデヤナイカト思フ、サウ云フコトヲ私共考ヘルカラ、食糧全部ニ付テハ此ノ間カラ仰シヤル通り、色々ノ「デリケート」ナ關係ガアルト仰ツシヤルナラバ、何トカ御盡力ニナツテ、一ツノ例トシテ、一ツダケデ宜イカラ、諸ダケデモ外スコトガ出來ナイカドウカ、聞ト云フコトヲ仰ツシヤルケレドモ、聞ト云フコトハ、政府ガ統制ト云フコトニ拘ハル爲ニ、ソレヲ嚴守シテ居ラレル爲ニ聞ガ起ル、諸ダケデモ御外シ下サルナラバ、諸ダケハ聞デヤイ生活ガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウニ私共思フカラ御尋ネシタノデアリマス、如何デセウカ

○政府委員(楠見義男君) 此ノ問題ニ付キマシテハ、尙十分研究サシテ(笑聲) 戴キタイト思ツテ居リマス

○松本學君 別ニ追及シテ申スノデハアリマセヌガ、ドウカ一ツ御研究ヲ願ツテ、私共ノ生活ト云フモノハ、自分等ガ生活シテ居リナガラ、不愉快ナ生活ヲシテ居ル譯デアリマス、何トカ政府ノ方デモ御考ヘヨ願ヘバ、モウ少シ朗カナ、大ラカナ生活ガ具體化スルモデノスカラ御尋ネシタ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツ伺ツテ見タイノデアリマスガ、今度ノ供出量ヲ御決メニナツタ生産量ノ基礎ガドコニアリマスカ、ソレハ、是ハ政府カラ出サレタ材料デアリマスケレドモ、米ト麥ト舊澤ト馬鈴薯ノ十七、十八、十九ノ三年平均ヲ取ツテ見マスト云フト、是ハ生産額デスガ、米ガ六千二百六十七萬九千石ト云フコトニナル、麥、甘藷ナドガ次ニアリ、平均シテ、米、麥、甘藷、馬

鈴養、是等ヲ米換算ヲシテ幾ラニナツテ居ルカト云フト、十七、十八、十九ノ三年ノ平均ノ米換算ハ八千三百七十萬石ニナツテ居ル、サウスルト二十年ノ統計ハ、是ハ御承知ノ通り三千九百萬石ト云フヤウナコトガ出テ居リマスカ、是ハ此ノ間モ農林大臣ガ仰ツシヤツタヤウニ、玄人ノ考デハコソナ馬鹿ナコトハナイ管ダ、恐ラク是ハ二十年ノ平均ニ於テ五千萬石ハ取レテ居ルと思フ、コソナ信憑ノ出來ナイ數字ハ出ナカッタと思フ、三年ノ基礎ヲ出シテ見テ八千三百七十萬石出レバ、八千三百七十萬石ト云フモノハ少クモ今日ノ日本ニ於ケル主要食糧ノ三年平均ノ基礎數量ニナルノデヤナイカ、サウスルト此ノ八千三百七十萬石ト云フモノヲ基礎ニシテ計畫ガ立ツベキデヤナイカと思フ、然ルニ二十一年ノ此ノ緊急措置令ニ依ツテ爲サレタ基礎ガ一體何處ニアツタカト言ヘバ、結局昨年ノ信憑スベカラザル數字ト云フモノガ基礎ニナツテ強權發動トカ、斯ウ云フヤウナ御處置ガ取ラレタノデヤナカラウカト思フノデス、ドウシテモ是ハ今後ノ今度御立テニナル供出ノ配給ト此ノ食糧計畫ト云フモノハ其處ノ基礎ニ數字のナハツキリシタモノヲ一ツ持ツテ居ナケレバナラナカッタカト思フノデス、ソレヲ何處ニ置イテ居ラレマスカ、本年ノ産米ノ見込額ニ依ルノデスカ、米ヤ麥、甘藷、馬鈴薯ナドヲ入レテ、ソレヲ總額ニシテ米換算ヲシテ此ノ度ノ供出額當ノ計畫ナリ、配給ノ計畫ト云フモノハドノ程度ノ基礎ヲ御置キニナツタノデアルカ、之ヲチヨット承リタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 本年ノ米ノ供出ニ付キマシテハ、先ヅ第一ニ農家ニ對スル保有量ニ於テ數理ノ上デ事實行レナイヤウナ數字ヲ考ヘテ割當ヲスルコトガ無意味デアリマスノデ、從ツテ戰爭中ヤリマシタコトモ、モウ一月先ニハ還元配給シナケレバナラヌ、農家、極端ニ申セバ明日ノ日カラ配給シナケレバナラヌ農家ニモ割當ヲ致シタノデアリマスカ、サウスルトコソナノヤウニ先ヅ「農家ニ對シテ此ノ程度デヤツテ行ケル程度ノ保有量ヲ認メルト云フノデ、四合ト云フコトニ致シマス、サウスル生産見込カラソレヲ引イタモノニ付テ供出ヲ期待スルスウ云フコトニ致シタノデアリマス、ソコデ從ツテ一番問題ハ本年カラハ、問題ノ中心ハ是デ食ツテ行ケルトカ、行ケナイトカト云フ問題ハ先ヅ第二段ニ、或ハ問題外ニナリマシテ、生産量デカガ問題ニナル、斯ウ云フコトデアリマス、生産量ニ付キマシテモ色々ハ形ノ上デハ理想的ニ近イヤウナ調査方法ヲ致シテ居ルノデアリマスカ、併シソレヲ調査スルノ調査對象ノ田畑ヲ取ル、其ノ田畑ノ取リヤウニ依ツテ又ソレガ段々ト下カラ上ヘ行ク迄ノ間、割當掛ツテ曖昧ナ數字ニナツテ居ル、ソコデドウシテモ此ノ點ガ不明瞭ニナルト云フコトヲ此ノ間農林大臣カラ申シマシタ通り、最低五千萬石迄カラ四百萬石、斯ウ云フヤウナ、數字迄實ハ出テ來ルノデアリマス、從ツテ尤モ是ハ八月一日ノ當時ニ於ケル調査ガ基礎ニナツテ地方ニ行ツテ居リマスカ、其ノ後ノ狀況ヲ見マシテモ、又八月一日當時ノ狀況カラ言ヒマシテモ、サウスルヤウナ馬鹿ナコトハナイと思フノデアリマス、ソコデ此ノ點ハ再三申上デマシタヤウニ、純粹ニ豐凶考照試驗ト云フ

モノヲ致シテ居リマシテ、是ハ單純ニ肥料トカサウ云フモノノ度外視シマシテ、天候ノ關係デケラ基礎トシテ無肥料「ボツ」試驗デ毎年比較シテ其ノ時ノ氣象狀況ノミヲ相手ニシテサウスル、豐凶ヲ考照比較スルノデアリマス、ソレヲ中心ニ致シマシテ、ソレニ對シテ施肥肥料、是ハ水田ハ昔ハ八貫、九貫ト入レテ居タノガ本年ハ一貫五貫カラ二貫迄シカ入ツテ居リマセヌノデ、サウスル肥料ノ變化ノ減少ニ因ル減收、歩合ト云フヤウナモノヲ見マシテ、ソコデ客觀的ニ此ノ程度ト云フ數字ガ出テ參リマスカ、其ノ數字ヲ地方應ニ示シテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ點ニ付テモ申上デマシタヤウニナカ「折合ガ付カナイ、結局或程度ノ所デ落付クノデアリマス、一番不明確ナ點ニナツテ居ルノデアリマス、結局ハ土屋子爵ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマシタヤウニ、實地ニ技術的ニ之ヲ攻メテ行クト云フ以外ハ途ハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一面サウスルヤウナ客觀的ノ調査ヲ致シテ大量觀察ヲ致シテ居ルノデアリマス、同時ニ具體的ニ地方ヘ専門家ガ行ツテ、サウスル現地デ之ヲ固メル、斯ウ云フ方向デ一番問題ノ生産量ト云フモノヲ確メルト云フコトニ致シテ見タイト、斯樣ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松本學君 只今ノハ米デケデゴザイマス

○政府委員(補見義男君) 麥ニ付キマシテモ實ハサウスルコトヲ致シタノデアリマス、是ハサウスルヤウナ麥カラ實ハ試驗ト云ヒマスカ、準備ニ致シマシテ、慈々米カラ本格的ニナツテ來ル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、

諸ニ付キマシテハ是ハナカ「米程ニハ實ハ的確ニハ行カナイノデアリマスガ、ソレニ致シマシテモ矢張り坪刈トカ、全刈ト云ヒマスカ、坪刈ト云ヒマスカ、斯ウ云フヤウナコトデ大體ソレニ近イヤウナ方法デヤラウト考ヘテ居リマス

○松本學君 只今ノ農家ニ對スル四合ト云フノハ、是ハ諸君含ンデ居リマスカ、米デケデスカ

○政府委員(補見義男君) 含マセテ居リマス

○松本學君 ヨク分リマシタガ、實ハ非常ナ御努力ナ譯デ、人ヲ派遣シテ、サウスル一々當ツテ生産量ヲ御調ベニナルト云フコトハ非常ニ御面倒ナコトデモアルシ、之ヲ主要食糧デアアル米麥、甘藷、馬鈴薯ニ當ツタヤルト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアラウト思フノデアリマスガ、チヨット大體把ニ先刻申上ゲタヤウニ三年平均ヲ取ツテモ八千三百七十萬石ト出テ來ルノデアリマスガ、此ノ統計其ノモノガ信用出來ヌト云ヘバ、ソレ迄デアリマスカ、殊ニ十七、十八、十九ノナルト段々ト先進テ農林大臣モ仰ツシヤツタヤウニ玄人デ考ヘレバ、如何ニモ少ク出シテ居ルト云フヤウナ數量ガ出テ來テ居ル、其ノ數字ヲ基礎ニシテ三年平均ヲ取ツテ見テモ、八千三百七十萬石ト云フ數字ガ出テ來ルノデアリマスカ、ダカラ恐ラク事實ニ於テハ、生産量ハモツト「多イモノダラウト思フノデス、デアリマスカ、餘リ細工ガ細力過ギルノデ、モウ少シ大マカニ三年平均位ナ、今申上ゲタヤウナ此ノ數字ヲ御出シニナツテ、サウスル大マカナ所ニ一ツ何トカ手ヲ打ツト云フヤウナ計畫ハ御立テニナルコトハ出來ナイ

ノカ、ソレハ政府ノ御方針デサウスルコトハ出來ヌト云フコトニナレバ、ソレキリデアリマスカ、餘リ細工ガ細力過ギルノデハナイカ、其ノ爲ニ餘リ細力過ギルニ、アツチニブツツカリ、コツチニブツツカリシテ、「スミース」ニモノガ運バナイノデハナイカト云フヤウナコトモ私ハ考ヘ、是ハ御考ノコトデアスカ、私ガ何ト云ツタツテソレデヤイカヌト云ヘバソレ切リデスカ、是ハ位デ止マスカ、一體將來ノ食糧政策ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ御立テニナル御積リデアリマスカ、恐ラク今日ノヤウナ此ノ非常時ノ日本ノ難局ニ處シテ其ノ年々ケケノ計畫ヤ唯人ニ頼ルト云フ計畫デケデ、私ハ立ツテハ行カヌノデヤナイカト思フ、殊ニ日本再建ト云フヤウナ大キナ仕事ヲ行カナケレバナラヌ、サウスル日本國民ガ再ビ立上ラナケレバナラヌト云フヤウナ時ニハ、矢張り三年、五年ノチヤントシテ見透シノ付イタ計畫ガ立ツテ、マア謂ハバ五年計畫ト云フヤウナモノガ立ツテ、之ニハ食糧ニ限リマスカ、財政ニシテモサウスル思ヒマス、有ラヌモノニ付テ五箇年計畫ト云フヤウナモノヲ立テテ、サウスル國民ガ其ノ計畫ニ從ツテ進ンデ行クト云フヤウナ指標ヲ政府ニ於テ御示シ下サルコトガ最も肝要ナコトデヤナイカ、ダカラ恐ラク將來ノ食糧政策ニ付テ何カ御案ガ立ツテ居ルノデヤナイカト思フノデス、殊ニ將來ノコトデ考ヘナケレバナラヌコトハ、只今モ中村委員カラ御話ガアツタヤウニ、生絲トカ何カノ關係ニ付テモ、食糧ト云フモノニ付テ日本トシテ一體ドウ云フヤウニ考ヘテ居ルノカ、ドウシテモ小サカナツタ國デアリマスカ、人口ハ非常ニ多イ

ノゾアヲマス、何トシテモハ食糧ダ
タハ自給スルト云フ覺悟デ居ラスト、
之ヲ容易ナ考ヘ方デ外國ノ食糧輸入ニ
依存スルト云フヤウナ考ヘ方デ御計畫
ヲ立テラレタナラバ、日本ト云フ國ハ
獨立性ヲ失フト思ヒマス、サウ云フヤ
ウナ重要ナ問題ダト思ヒマスカラ、ソ
レヲ御計畫ガ立ツテ居リマスカ、ソ
レヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男) 先づ第一點
ノ供出ニ關シテ出來ルダケ大マカナ方
法デヤツテハドウカト云フ點デアリマ
スガ、實ハ私共モ御承知ノヤウニ段々
苦シクナレバナル程、何ト申シマス
カ、食糧スレバ鈍スルデ、色々細カイ重
箱ノ隔リホジクルヤウナモノ迄當テニ
シナケレバナラヌト云フヤウナコト
デアリマシテ、從ツテ此ノ管理ノ面
ニ於テ、供出ノ面ニ於ケマシテハ、實
ハ私共モ切リ切レナイヤウナ狀態デア
ツタノデアリマス、從ツテ今回此ノ農
家保有ニ付テタント保有量モ認メルト
カ、色々細カイ査モ實ハ考ヘテ居ツタ
ノデアリマスガ、斯ウ云フモノヲ一切
止メマシテ、大雜把ニ一人平均四合ト
云フヤウナ風ニ持ツテ行ツタノモノ
ノ現レデアリマシテ、出來ルダケ餘リ
細カイ煩ハシイコトデナイヤウナ風ニ
努力ハシテ參リタイ、又ソレハ著々ヤ
ツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ
居リマスノデ、此ノ努力ハ更ニ緩マズ
ニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
御趣旨ノ點ハ私共同様ニ考ヘテ居リマ
ス、ソレカラ將來ノ計畫デアリマス
ガ、此ノ自給ノ問題ニ付キマシテモ、
色々論議ガアルノデアリマスガ、是モ
考方ニ依リマシテハ色々誤解ヲ生ジル
ノゾ、此ノ點私共モ十分ニ注意ヲ致シ

テ居ルノデアリマスガ、先程モ穀種ノ
御話ガ出マシタガ、日本ハドウシテモ
食糧ヲ自給シナケレバナラヌ、從ツテ
極論ヲセラル、方ハ、自給ト云フ點ニ
餘リニ重點ヲ置ク爲ニ、桑畑モ全部引
ッコ抜イテ食糧ヲ作レ、斯ウ云フ所迄
動モトモスルト議論ガ種ル處ガアルノ
デアリマス、從ツテ私共ノ申シテ居リ
マスルコトハ、勿論ノ仰モノヤウニ食
糧ニ付テハ出來ルダケ最高限度ノ自給
度ヲ上ゲルト云フ點ニ付テハ勿論異議
ノナイコトデアリマスルガ、唯極端ニ
桑畑全部ヒツクリ返スト云フヤウナ議
論デケテ警戒ヲ致シテ食糧ノ點ニ努力
ヲ致シタイ、從ツテ例ヘバ國內ノ開拓
ノ問題、或ハ干拓ノ問題等ニ付キマシ
テモ總テ此ノ觀點カラ實ハ、問題ヲ取
上ゲテ居ルノデアリマス、ソコデ將來
ノ計畫ト云フマア差當リノ五年ナラ五
年ノ計畫ト云フモノハアルカドウカノ
問題デアリマスガ、實ハ此ノ問題ニ付
テハ、昨年ノ暮カラ計畫ヲ檢討致シテ
居リマシテ、司令部カラモ要請ガアリ
マシタノデ、五箇年計畫ト云フモノヲ
立テテ居リマス、唯之ニハ色々條件ガ
アリマシテ、例ヘバ開拓ノ百五十萬町
歩ガ完了スル、或ハ十萬町歩ノ干拓
ガ完了スル、或ハ肥料ガ二百萬「トン」
ガ完成スル、備前石モ所要ノ備前石ガ
入ルト云フヤウナ色々ノ條件ガアルノ
デアリマスガ、ソレニ依リマシテ大體
水田ニ付テハ、五年先ニハ例ヘバ七千
二百萬石餘ニナルトカ、或ハ麥ニ付キ
マシテハ、二千九百萬石程度ニナルト云
フ風ニ一應五年ノ目度ハ立テテ其ノ方
向デ進メテ居ルノデアリマスガ、何分
ニモ其ノ梯子ニナル條件ガナカ、不安
定ナモノデアリマスノデ、色々はガ
又誤解ノ種ニナツテハナラヌト思ヒマ

シテ、ソレ等ノ條件ガアル程度筋道、
方向デケデモハツキリスルト云フ場合
ニ一ツノ此ノ問題ヲ正式ニ世間ニ問フ
ヤウナ手段ヲ取リタイト、斯ウ云フコ
トデ現在マダ發表致シテ居ナイヤウ
ナ情勢デアアルノデアリマス、其ノ點ダ
ケ申上ゲテ置キマス

○松本學君 能ク承リマシテ了致シ
マシタ、備前石ナンカニ付キマシテモ
御計畫ノ現レデアリマセウ、司令部デ
モ相當ノ好意ヲ示シテ居ルト云フコト
モ聞イテ喜ンデ居リマスガ、サウ云フ
計畫ガ御出來ニナツテ居ルト云フコト
ハ、御考ヘニナツテ居リマスヤウナコ
トデ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソ
レデハ私ノ質問ハ是デ終リマス

○菅澤重雄君 松本委員カラ將來百年
ノ大計ト云フヤウナ問題ガ出マシタ
ガ、之ニ關聯シテ私モ一言、政府ガ本
當ニ百年ノ大計ヲ樹立スルト云フナ
ラ、我々ノ首肯サレルヤウナ案ヲ立テ
テ實ヒタイト云フ計畫ヲ置キタイ
ノデス、元來日本ハ國土狹小ノ上ニ、
滿洲、朝鮮、臺灣、樺太等ヲ失ツタノ
デスカ、内地ダケデ自給自足シナケレ
バナラナイ建前ニナレバ、ドウシテモ
從來ノヤウニ米ニノミ依存スルト云フ
コトハ出來ナイ、ソコデ政府ハ五箇年
計畫デ百五十萬町歩乃至二百萬町歩ノ
開拓ヲスルト仰セラレマスケレドモ、
是ガ矢張り是迄開拓ノ出來ナイ所ト云
フモノハ、從來開イテ居ツタ所ノ土地
ヨリハ遙カニ劣等ナ土地デアリマス、
之ヲ開イタ處デ政府ノ目的ノ通りニ參
ラナイト云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマ
ス、ソコデ大體論カラ言ヘバ、私共ノ常
ニ主張スル所ノモノハ、第一ニ肥料ガ
足ラナカッタ、昨年ノ麥ナゾハ大體肥
料ノ關係カラデアツテ、私ノ地方ナゾ

ハ一段歩ノ收量ガ三升ニ五升ニ八升、
斯ウ云フヤウナ調査ニ依ツテ相當ヲシ
タノデス、是ハ皆肥料ノ關係デス、ソ
レ程肥料ノ力デ收量ガ減ルノデスカ
ラ、此ノ肥料ヲ先ツ増産スルト云フコ
ト程、急務ナ問題ハ今ノ時代ニ於テナ
イ、幸ニ政府ハ肥料ノ内地デ造ル、及
ビ備前石ヲ入レルト云フコトニ御努力
ヲナサツテ居ラレマスケレドモ、先づ
私ノ考デハ麥ヲ、現在ノ五箇年平均ノ
二千六百萬石ヲ倍ニスル位ノ計畫ヲ立
テナケレバナラヌデヤナイカ、麥ト云
フモノハ今ノ二千六百萬石ノ倍位獲レ
ル性格ヲ以テ居ルモノデアルト私ハ確
信スルノデアリマス、麥ヲ作ル技術程
農民ガ今劣等ナモノハナイ、デ私ハ一
昨年デスカ、昨年デスカ、栃木縣ニ行
キマシテ、栃木縣ノ供出ハ一昨年デッ
タカハ確カ七十萬石シカ供出ガ出來ナ
カッタ、處ガ安積知事ガ三重縣カラ行
ツテ、麥ノ移植、蒔播廣播ヲ實行シテ
ソレヲヤツタラ百四十、五十萬石、倍ノ
供出ヲシテ居リマス、ソレデモ一段歩
當リカラ言ヘバ最少イ肥料デス、麥
ノ收穫ト云フモノハ我々ガ觀察シタ結
果ニ依リマス、三重縣デハ一段歩カ
ラ二十七萬石増シテ居リマス、ソレヲ一
倍半カ二倍位シカ獲レナイ、私ノ縣ナ
ドノ昨年三升ニ、五升ニ、八升ト云フ
收穫デアリマス、之ヲ農林省ハ大イニ
技術的ニモツト改良ヲ加ヘテ、麥ヲ倍
ニスル、其ノ次ニドウシテモ段當リノ收
量ノ多イ玉蜀黍、之ヲ山岳地帯、所謂
寒冷地帯ナドニシテ獎勵シテヤレ
バ日本ノ食糧ハ解決スルト私ハ考ヘマ
ス、昨年桔梗ヶ原デハ十二倍、富士吉
田デハ、其ノ前年行ツタノデスカ、十
二倍ハ獲レルト山梨縣ノ農事試験所デ
ハ保證シテ居ル、サウ云フヤウナ譯デ

私ノ經驗カラ申シマシテモ三十九年カ
ラ馬ヲ飼ツタ玉蜀黍飼料ニ使ツテ居
リマシタガ、七倍カラ十倍ノ間ハ大抵
ノ年デモ獲レテ居ル、段當リノ收量ノ
多イモノヲ作ルト云フコトガ必要デア
ルト同時ニ、日本ハ今後食糧ニ依ラナ
ケレバオラス、米ニノミ依存スルコト
ハ絕對ニ出來ナイト私ハ考ヘルノデア
リマス、之ヲ農家ニ普及スルコト、ソ
コデ私ノ考ヘデハ臺灣、朝鮮、滿洲ガ
日本ノ國土ニ屬スル時代ニ於テハ此ノ
三國ヲ通ジテ食糧問題ノ計畫ヲ立レバ
朝鮮、臺灣及ビ滿洲デ三千萬石
位作ツテ、サウシテ内地デ一千五百萬
石位増セバ一億ノ人口ハ養ヒ得ルト云
フ、斯ウ云フ腹案ヲ持ツテ居ツタノデ
ス、ソレガ敗戦ノ結果、日本國土ダケ
ニ止ルノダカラ、尙更困難ナ事情ガ生
ジタカラ、一層百年ノ大計ヲ立ツル爲
ニハ、私共ノ主張スルヤウナ粉食ヲ今
後獎勵スル、麥ヲ増産スル、之ヲ全國
的ニ技術的ニ進歩サセル、米ノ方ニ付
テハ既ニ殆ド餘地ガナイト思フ、現ニ
山崎農林大臣ノ時ニモ暗渠排水或ハ客
土法或ハ耕地整理ト云フコトヲヤリマ
シタケレドモ、ソレニ依ツテデレ程ノ
増産ガアリマシタカ、私ハ今當時モ
ソレハ一ツノ机上ノ空論デアアル、机上
ノ計畫デアアル、机上ニ計畫ヲ立テテ机
上ノ人ニ承諾スルヤウナ案デアツ
テ、決シテ實際問題トシテ、地ニ即イ
タ案デアナイト云フコトヲ私ハ其ノ當時
モ批評シタ、果シテ其ノ通りデヤナイ
カト私ハ考ヘル、ナカ、客土法ダト
カ暗渠排水ダトカ云フモノノミデ日本
ノ將來ノ百年ノ大計ヲ立テルナント云
フコトハ出來ナイト考ヘル、六百萬町
歩シカナイモノガ、今度六百二十五萬
戸ノ農家ニ、土地ヲ零細ニ分配シタナ

ラ、是ハ益々飯米百姓バカリニナツテ、都會ノ農業ヲヤライ耕作民デナイ所ノ者ノ食糧ハ益々缺乏ヲ來スト云フコトハ、ハツキリ私ハ分ツテ居ルコトデアリマス、此ノ際政府ハ餘程英斷ヲ以テ百年ノ大計ヲ立テナケレバ、是ハ食糧問題ヲ絶エズ苦シマナケレバナラナイト思フデアリマス、今ノヤウナ私共ノ主張スル玉蜀黍ノヤウナモノヲモット普及スルコトガ必要デナイカト考ヘルノデスガ、ドウモ政府ハ我々素人ニ教ハツテヤルコトガ、甚ダ氣ニ食ハナイコトノヤウニ考ヘテ居ル、自分ノ面子ニ係ハルヤウナコトバカリニ囚ハレテ居ルカラ、レデハ私ハ日本ノ再建ハ堅東ナイト考ヘル、モウ少シ度量ヲ大キクシテ、篤農家ヤ或ハ實際家ノ意見ヲ徴シテ、政府モ研究スルガ然ルベキダト考ヘルノデス、是ハ參考ニ一ツ進言シテ置キマス

○男爵佐竹義隆君 私ハチヨット一點ダケ伺ヒタイノデアリマス、今農村文化協會ト云フモノガアリマシテ、ソコデ紙芝居トカサウ云フモノヲヤリマシテ、農村ノ娛樂ニ努メテ、大變有效デアリヤウデアリマスガ、又一方ニハ堅實性ノアル青年達ガ集リ合ツテ、讀書トカ文化又高度農業ノ研究ナドヲシテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ、下カラ盛リ上ル意氣込ノアル青年達ノ心持ヲ把握シマシテ、道義上又知識上民主主義ト云フヤウナ方面ヲ指導シタラバ、非常ニ有效デアルト思ヒマスガ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ例ヘバ講師ヲ派遣シ、或ハ圖書ノ配付等ヲ致シマシテ、大イニ指導シ、増進ノ意欲ヲ高メサセルモノニシタイト思ヒマスガ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、當局ノ方デドウ云フ御考デアリマ

スカ、其ノ一點ダケ御伺ヒシタイノデアリマス

○政府委員(補見義男君) 御話ニアリマシタ農村文化協會ノ活動ノ點デアリマスガ、是ハ實ハ戰爭中モ色々農村ニ對スル慰安ヲ與ヘル爲ニ、又一面供出ニ對スル御禮ヲ兼ねテ、農村文化協會ガ中心ニナツテ、相當活躍ラシテ戴イタノデアリマス、政府モ勿論十分デハゴザイマセヌデシタガ、之ニ對シマシテ助成ヲ續ケテ參ツタノデゴザイマス、デ此ノ終戦後ノ狀況、特ニ今後ノ農村文化問題ニ付キマシテハ、先般モ御答ヘ申上ゲタコトデアリマスガ、農業經營ノ面ニ於ケル合理化ト云フヤウナ、基礎的ナ農村文化ヲ受入レル基盤ノ改善ト云フコトヲヤラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマシテ、此ノ面ニ於テ努力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ生産面、經營面ニ於ケル合理化ノ上ニ、一面又只今御話ニナリマシタ娛樂デアリマストカ、讀書デアリマストカ、健全ナルモノヲ植付ケテ行クト云フコトニ付キマシテハ、依然私共モ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、從ツテ農村文化協會其ノ他色々ノ團體モゴザイマスガ、是等ノ團體ノ事業ニ付キマシテハ出來ル限リ助成ヲ考ヘ又努力シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵黒田清君) ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開キマス

午後三時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒田 清君

副委員長 男爵佐竹 義隆君

委員 侯爵大久保利謙君

政府委員

侯爵前田 利建君	子爵今城 定政君	子爵秋田 重季君	子爵土屋 尹直君	子爵井上 勝英君	林 春雄君	男爵稻田 昌植君	男爵前島勘一郎君	中村藤兵衛君	山崎 延吉君	松本 學君	菅澤 重雄君	名古屋三吉君
農林次官 補見 義男君	農林事務官 三堀 參郎君	坂田 英一君										

昭和二十一年十月二十五日印刷

昭和二十一年十月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局